

現行ノ裁判所構成法ニ據レバ通常裁判所ハ分チテ四種ト爲ツテ居ル、(第一)區裁判所(第二)地方裁判所(第三)控訴院(第四)大審院デアアル、茲ニ通常裁判所ト云ヘルハ民事刑事ヲ概括的ニ管轄スル裁判所ノコトデアリマス、

第一 區裁判所ハ一人ノ判事ガ其裁判權ヲ行フ組立デアリマス、裁判所ニハ合議制ト單獨制ノ區別ガアル、合議制トハ數人ノ判事カ會議ノ結果ヲ以テ裁判スルモノデアアル、單獨制トハ一人ノ判事ガ裁判權ヲ行フノデアアル、區裁判所ハ單獨制ノ裁判所デアリマス、其權限ハ概括シテ言ヘバ稍輕易ナル民事、刑事ノ訴訟ヲ裁判シ及非訟事件ヲ管轄スルモノデアリマス、稍輕易ナルト云フハ比較的ノ言葉デアツテ法律ノ上ニテ明白ニ言ヘバ繁雜ナガラ器械的ニ列舉セネバナラス、  
民事訴訟ニ於テハ左ノ事項ニ付キ裁判權ヲ有スルモノデアアル、但反訴ニ關シテハ民事訴訟法ノ定ムル所ニ依ル

- 第一 二百圓ヲ超過セザル金額又ハ價額二百圓ヲ超過セザル物ニ關スル請求
- 第二 價額ニ拘ラズ左ノ訴訟

(イ) 住家其他ノ建物又ハ其或部分ノ受取、明渡、使用、占據若ハ修繕ニ關リ又ハ

賃借人ノ家具若ハ所持品ヲ賃借人ノ差押ヘタルコトニ關リ賃借人ト賃借人トノ間ニ起リタル訴訟

(ロ) 不動産ノ經界ノミニ關ル訴訟

(ハ) 占有ノミニ關ル訴訟

(ニ) 雇主ト雇人トノ間ニ雇期限一年以下ノ契約ニ關リ起リタル訴訟

(ホ) 左ニ掲ケタル事項ニ付キ旅人ト旅店若ハ飲食店ノ主人トノ間ニ又ハ旅人ト水陸運送人トノ間ニ起リタル訴訟

(一) 賄料又ハ宿料又ハ旅人ノ運送料又ハ之ニ伴フ手荷物ノ運送料

(二) 旅店若ハ飲食店ノ主人又ハ運送人ニ旅人ヨリ保護ノ爲メ預ケタル手荷物、金錢又ハ有價物

之ハ書取ガ甚ダ面倒ヂヤラウト思フケレドモ、一寸器械的ノコトデアツテ概括シテ話スコトハ出來ナイカラ、兎ニ角法律ノ規定ヲ此以下ニ讀上ゲマスカラ一々書取ラストモ裁判所構成法ノ第十四條第十五條第十六條等各其條文ヲ後テ御覽ニナレバ其通リノコトガアル



刑事訴訟ニ於テハ左ノ事項ニ付キ裁判權ヲ有スル、但第二以下ニ記載シタル罪ハ豫審ヲ經ザルモノニ限ル。

第一 違警罪

第二 竊盜ノ罪

第三 二百圓ヲ超過スル罰金ヲ併科又ハ附加セザル本刑六月以下ノ禁錮ニ該ル罪

第四 本刑二百圓ヲ超過セザル罰金ニ該ル罪

此外區裁判所ハ非訟事件ヲモ取扱ヒマス、非訟事件ノ範圍ハ大體左ノ通りデアル

第一 未成年者、瘋癲者、白痴者、失踪者其他法律若ハ判決ニ因リ治産ノ禁ヲ受ケタル者ノ後見人若ハ管財人ヲ監督スルコト

第二 不動産及船舶ニ關スル權利關係ヲ登記スルコト

第三 商業登記及特許局ニ登録シタル特許意匠及商標ノ登記ヲ爲スコト  
以上ガ區裁判所ノ權限ノ大略デアリマス

第二 地方裁判所ハ合議制ノ裁判所デアツテ數箇ノ部ニ分レテ三人ノ判事ヲ以

テ組立テタル部ニ於テ裁判スル

地方裁判所ハ民事訴訟ニ於テハ左ノ事項ヲ管轄スル

第一 第一審トシテ

區裁判所ノ權限ニ屬スルモノ及皇族ニ對スル民事ノ訴訟ヲ除キ其他ノ請求

第二 第二審トシテ

(イ) 區裁判所ノ判決ニ對スル控訴

(ロ) 區裁判所ノ決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

刑事訴訟ニ付テハ左ノ事項ニ付キ裁判權ヲ有スル

第一 第一審トシテ

區裁判所ノ權限又ハ大審院ノ特別權限ニ屬セザル刑事訴訟

第二 第二審トシテ

(イ) 區裁判所ノ判決ニ對スル控訴

(ロ) 區裁判所ノ決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

此外ニ地方裁判所ハ破産事件ニ付テハ一般ノ裁判權ヲ有シマス、又非訟事件ニ關



スル區裁判所ノ決定及命令ニ對シ法律ニ定メタル抗告ニ付キ裁判權ヲ有スル  
第三 控訴院ハ合議制ニ依テ裁判權ヲ行フノデアツテ、數箇ノ部ニ分レ、五人ノ判  
事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ裁判スルノデアアル  
控訴院ハ左ノ事項ニ付キ裁判權ヲ有スル

第一 地方裁判所ノ第一審判決ニ對スル控訴

第二 區裁判所ノ判決ニ對スル控訴ニ付キ爲シタル地方裁判所ノ判決ニ對ス  
ル上告

第三 地方裁判所ノ決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

其外ニ人民ヨリ皇族ニ對スル民事ノ訴訟及衆議院議員ノ選舉ニ關スル訴訟ハ特  
ニ控訴院ノ權限ニ屬シテ居リマス

第四 大審院ハ合議制ノ裁判所デアツテ七人ノ判事ヲ以テ組立テタル部ニ於テ  
裁判スル

大審院ノ管轄ノ事項ハ

第一 終審トシテ

(イ) 區裁判所ノ判決ニ對スル控訴ニ付キ爲シタル地方裁判所ノ判決ニ對ス  
ル上告ニ付キ爲シタル判決及人民ヨリ皇族ニ對スル民事訴訟ノ第一審ノ  
判決ニアラザル控訴院ノ判決ニ對スル上告

(ロ) 控訴院ノ決定及命令ニ對スル法律ニ定メタル抗告

第二 第一審ニシテ終審トシテ

刑法第二編第一章及第二章ニ掲ゲタル重罪並ニ皇族ノ犯シタル罪ニシテ禁  
錮又ハ更ニ重キ刑ニ處スベキモノ、豫審及裁判

以上ガ各裁判所ノ法律ニ定メテアル權限デアリマス、之ハ甚ダ煩雜デアアルカラ法  
文ニ據テ御覽ニナルノ外ハナイ、一々説明スル時間ガアリマセヌ

各裁判所ニハ檢事局ガアツテ檢事ヲ置テアリマス、檢事ノ職務ハ刑事ニ付テ公訴  
ヲ起シ其取扱上必要ナル手續ヲ爲シ、又判決ノ執行ニ付テモ之ニ干與シ、又民事ノ  
訴訟ニ付テモ公益上必要ト認ムルトキハ意見ヲ述ブルコトヲ得ルモノデアアル、檢  
事ハ元來行政權ノ機關デアリマス、判事トハ憲法上ノ地位ハ全ク異ツテ居ル、故ニ  
行政權ノ訓令ヲ受ケテ働クモノデアリマス、又裁判所ニ附屬シテハ執達吏ガアル



之ハ裁判所ヨリ發スル文書ヲ送達シ若ハ裁判ノ執行ヲ掌ル者デアアル、又公證人ト云フ職ガアル、之ハ人民ノ囑託ニ應シテ民事ニ關スル公正證書ヲ作成スル者デアアル、又辯護士ノ職ガアル、之ハ當事者ノ委任ヲ受ケ時トシテハ裁判所ノ命令ヲ受ケテ訴訟事件ヲ取扱フ者デアリマス、是等ハ皆司法權ノ行使ニ付テ附屬セル機關デアツテ固ヨリ判事トハ其地位ヲ異ニシテ居ルノデアアル

前ニ非訟事件ハ區裁判所ニテ管轄スルト云フコトヲ謂フタガ、非訟事件トハ民事刑事ノ訴訟事件ニ對シテ云ヘル言葉デアツテ實ハ性質上司法權ノ行動デハナイ寧ロ行政權ノ行フヘキ事務デアアル、例ハ不動産ノ權利關係ノ登記ハ非訟事件トシテ區裁判所ニテ取扱ハレテ居ル、一方ニハ戶籍ハ行政應ニテ登録事務ヲ取扱ツテ居ル、元來戶籍ノ登録モ不動産ノ登記モ實質上異ル所ハ少ナイ、唯便宜上一方ハ裁判所ニテ取扱ヒ一方ハ行政應ニテ取扱ツテ居ルノデアアル、故ニ所謂非訟事件ナルモノハ憲法上當然司法權ノ行動トシテ天皇ノ名ニ於テ裁判所ニテ行フコトヲ要スルモノデハナイ、實ハ司法權ノ範圍外ノモノデアアル、併シ司法權ノ爲メニ設ケタル裁判所ト云フ機關ヲ利用シテ之ニ兼テ是等ノ事ヲ掌ラシメテ居ルモノト見ル

ガ憲法上當然ノ解釋デアリマセウ

### 第五編 統治權ノ作用

#### 第一章 統治權

統治權ノ作用

此編ニ於テハ統治權ガ憲法ノ規定ニ依テ如何ニ行動スルカノ形式ヲ説明シマス、統治權其モノ、本來ノ性質ハ既ニ國家ノ要素トシテ第一編ニ説明シテアルカラ茲ニハ繰返ヘシマセヌ、又統治權ハ我國體トシテハ天皇ノ權力デアアルコトモ既ニ統治ノ主體ノ編ニ於テ明白ニ述ベテアリマス、是レ亦茲ニ再ビ辯明スル必要ハアルマイ

統治權ト云フモノニ付テ或ハ誤解ガアル、憲法ニ依テ生ジ憲法ニ依テ範圍ノ定ル權力デアアルカノ如クニ想像スルハ固ヨリ誤解デアアル、國ヲ統治スルノ權力ハ國家其モノト共ニ初ヨリ當然ニ備ハレルモノデアツテ、又其行動ノ範圍モ國家其モノノ性質ニ當然ニ伴フモノデアツテ、此權力ガ憲法ニ依テ作ラレタルニモアラズ、又憲法ニ依テ其權力ノ範圍ガ定ルモノデモアリマセヌ、憲法ハ統治權ノ生ミタル子デアアル、憲法ガ統治權ヲ作ルニハアラズシテ統治權ガ憲法ヲ作ツタルノデアアル、從

憲法 統治權ノ作用 統治權



テ憲法ノ規定ハ主權者ガ國ヲ統治スル方法形式ヲ定ムルモノデアアル、權力其モノヲ生ゼシムル效力ハナイモノデアリマス、又限定スルモノデモアリマセヌ、此編ハ統治權其モノヲ論ズルニハアラズ、統治權ノ行動ノ憲法上ノ形式ヲ説明スルモノデアリマス

〔統治〕ト云フ語ハ蓋權力ヲ統ベテ國ヲ治ムルト云フ意味ヨリ出デタルノデアラウ統治ト云フ文字ニ願ミテモ天皇ガ帝國ニ臨ムハ之ヲ一私人ガ其所有物ヲ自己ノ爲メニ利用スルガ如キ關係ニハアラズ、民族團體ノ公ノ事ヲ掌ル意味タルコト明白デアアル、此事ハ我國體ヲ辯ズルニ於テ特ニ注意スベキ所デアアル、古ヨリ我歴史ニハ國土人民ヲ君主ノ私有ノ財產ト見タル觀念ハ更ニナイ、歐羅巴ノ中世ノ國家ニ於テハ君主ノ國ヲ有スルハ人ガ土地、家畜ヲ所有スルガ如キ意味ニテ之ヲ有シタル時代ガアル、故ニ歐羅巴ニ於テハ近世國家ト爲ルニ及デ統治權ノ觀念ガ更ニ一新シタルモノト云フベキデアアル、我國ニ於テハ封建ノ世ニ諸侯、豪族ガ人民ヲ私シタリト云フコトハ事實ハアツタナレドモ國ノ法トシテ秩序ヲ紊リ王權ヲ侵ス不法ノ事ト看做サレテアツタ、故ニ此封建ノ陋習ヲ破テ王政ヲ一新シタリト云フハ

我古來ヨリノ本來ノ國體、政體ノ名實ヲ正シタリト云フノデアツテ國體、政體ヲ變更シタルモノデハナイ、其點ハ我建國ノ性質ヲ知ルニ於テ重大ナル所デアリマス、統治權ハ最高ノ權力デアアル、圓滿ノ權力デアアル、此事既ニ國家ノ性質ノ説明ニ述ベテアルト覺エル、此最高ニシテ圓滿不分ノ全能ノ權力ガ下人民ニ向テ行動スルニ方テ主權者ハ憲法ヲ設ケテ其行動ノ形式ヲ定メ一般人民ヲシテ遵守スル所ヲ明ニスルモノデアアル、是ガ憲法ノ性質デアリ效用デアリマス、人民ノ統治權ニ服従スルハ絶對ニシテ無限ナルモノデアアル、憲法ニ依テ限ラレタルモノデハナイ、何トナレバ憲法ヲ變更スルトモ統治權ト人民トノ本來ノ關係ハ依然トシテ損益スル所ナク存在スルノデアアル、先ヅ此本來ノ關係ヲ明瞭ニ知ラネバナラス、唯今日ハ今日ノ憲法ニ依リテ支配スルト云フコトヲ明言シテアルカラ現行憲法ノ有效ナル間ハ此有效ノ條規ニ依リテ支配セラル、ト云フコト、ナル是ガ人民ノ方面ヨリ觀レバ、權利自由ノ保障デアアル、是ガ主權者ノ方面ヨリ觀レバ、權力行動ノ規則デアアル、憲法ハ此意味ニテ重キヲ爲スモノデアリマス、凡ソ權力關係ハ法律、命令ニ依リテモ特別ニ生ズル、例ハ軍人ハ軍紀ニ服従スルト



カ、官吏ハ監督權ニ服從スルトカ、或ハ未成年ノ子ハ親權ニ服スルトカ云フ類ノコトガアル之ハ法令ニ依テ更ニ生ズルノ權力服從ノ關係デアツテ獨立絶對ニ存スルモノデハナイ、統治權ノ人民ニ對スル關係ハ是等ノモノト混同シテハナリマセヌ、國家ノ人民ニ對スル服從ハ法令ニ依リテ生ズルト云フハ語弊ガアル、本來ノ服從ハ法令以上ニ既ニ存在スル、唯法令ハ服從ノ方法、形式、程度ヲ示スモノデアアル是レ亦憲法ト統治權ト人民トノ關係ヲ知ルニ於テ誤解ガアツテハナラヌ所デアリマス

統治權ノ憲法上ノ行動ノ形式ハ憲法ノ全體ノ規定ニ依テ定ルモノデアアル、併ナガラ大體ノ精神ヲ通觀スルトキハ所謂立憲政體ノ憲法ニハ此點ニ付テニツノ大ナル主義ガアル、一ハ三權分立ノ主義デアリ、一ハ法治國ノ制度デアアル、今概略此二點ヲ説明シ統治權效用ノ大綱目ヲ示スデアリマセウ

我憲法ヲ見ルニ統治權ノ行動ヲ大別シテ君主ノ大權ト立法權ト司法權トノ三ツトシテ居ル、是レ所謂三權分立ノ精神ニ據ルモノデアアル、大權、立法權、司法權ノコトハ夫レ夫レ別ニ是ヨリ章ヲ設ケテ精シク説ク、大體論トシテ此區別ハ立憲政體ノ

大綱目デアアル、此區別ノアルトナキトハ政體ノ種類ヲ定ムルニ付テ大ナル關係アルモノタルコトヲ知ラナケレバナラヌ、元三權分立ト云フコトハ佛蘭西ノ學者カ唱ヘタル事デアツテ、其説明ガ如何ニモ器械的デアツテ國權ヲ三分スル如ク主張シタルガ故ニ大ニ近來ノ學說上反對ヲ受ケテ居ル、三權分立ハ主權統一ノ主義ト反スル、又特ニ我國ノ如キ君主ヲ以テ主權者トスル國體ニ於テハ君主主權ノ主義ニ矛盾スル、故ニ是等ノ理由ヲ以テ内外ノ學者ノ爲メニ極力排斥セラレテ居ル、殊ニ獨逸ノ學者ハ所謂三權分立論ハ既ニ學問上ノ價ヲ失ヒテ何人モ眞面目ニ主張スル者ガナイカラ辯駁スル必要モナイトマデ斷言シテ居ル、ラバンドノ國法論ニ此事カ述ベテアル、我輩ハ敢テ奇ヲ好ム譯デハナイガ、此三權分立ノ精神ヲ度外視シテハ所謂立憲政體ナルモノハ何等特別ノ意味ヲ爲サザルモノトナルト思ヒマス、故ニ年來内外ノ學者ノ反對ニ拘ラズ此精神ヲ以テ憲法ヲ説明シテ居ル三權分立ヲ以テ國權ヲ三分スルモノト解スルハ固ヨリ不可ナルノデアアル、若シ此意味ナラバ我憲法ノ容サザルノミナラズ孰レノ國體ニ於テモ不當デアアル、又獨逸學者ノ多數ノ言フガ如ク、三權分立トハ權力ノ區別ニハアラズ、同一ノ人が同一ノ



權力ヲ有ツテ或ハ立法シ或ハ行政シ或ハ裁判スル事務ノ區別デアルト見ルナラバ何故ニ此三ツノ區別ヲノミ憲法ニ認ムルノデアルカ、斯ノ如キ區別ハ際限ノナキコトデアアル、實用モナイコトデアアル、教育ヲスル權、恩典ヲ與フル權、警察權、租稅權數へ來レバ停止スル所モナイ、事務ノ區別ヲ特ニ憲法ニ掲ゲタラバトテ何等實際ノ意味ヲ爲スモノデアリマセヌ、故ニ之ヲ單純ニ事務ノ區別ト見ル說モ我輩ノ採ラザル所デアリマス、此區別ハ實際ニ權力ノ區別デアアル、特別權力ノ區別デアアルカラ憲法上意味ヲ爲スノデアリマス、此點ハ少シ説明ヲ要スル

元來立憲政體ナルモノハ一人ノ專制ヲ防グガ爲メニ起リシモノデアアル、一人ノ專制トハ其裏面ヲ謂ヘバ一自然人若ハ許多ノ同一ナル自然人ガ總テノ權力ヲ行フト云フコトデアアル、君主ガ專制スルコトモアリ、議院ガ專制スルコトモアル、此專制ヲ防グニハ權力ヲ分タネバナラヌ、併シ國家主權ハ唯一ニシテ分ツベカラザルモノデアアル、然ラバ如何シテ國權ノ統一圓滿ヲ失ハズシテ權力ノ分立ヲ爲シ得ルカ是ガ立憲ノ問題デアアル、此問題ガ所謂三權分立ニ依テ解決セラレテアル、此ニ至リテ我輩ガ常ニ説ク法律意思ト自然意思ノ區別ニ注意セネバナラヌ、國權ト云フハ

國家ノ意思デアアル、國家ノ意思ハ一ツデアツテ二ツナク分割スベカラザルモノデアアル、然レドモ元來國家ハ無形ノ物デアアルカラ自然意思ヲ有スルノデハナイ、法律的ニ組立ラレタル意思ヲノミ有スルノデアアル、國權ト云ヒ國家ノ意思ト云フハ實ハ自然人ノ自然意思ニ依リテ組立ラレテ法ノ上ニ現ハル、法律意思デアアル、分ツベカラズト云フハ此法律上ノ國家ノ意思デアアル、國權デアアル、國家ノ法律意思ガ一アツテ二ナク分ツベカラザルノデアアルガ、此法律意思ヲ組立ツル材料タル自然人ノ自然意思ハ分ツコトガ出來ル、自然人ノ自然意思ヲ分ツトハ立法ニ付テ發表スル國家ノ法律意思ノ組立ニハ甲種ノ自然人ノ意思ヲ其構成分子トシ、裁判スル國家ノ法律意思ノ構成ニハ乙種ノ自然人ノ自然意思ヲ其構成分子トスルト云フガ如キ意味デアアル、其構成分子タル自然人ノ自然意思ヲ分離シテ之ヲ分チ混ゼシメズ、各憲法ニ依テ之ガ國家ノ法律意思トシテ唯一ノモノト爲ツテ現ハル、ト云フ此仕組ニテ權力分立ノ目的ガ達セラル、是レガ所謂三權分立ノ精神デアアル、此意味ヲ解釋玩味スルニアラザレバ三權分立ノ主義ハ了解スベカラズ、從テ立憲政體ノ何タルハ其特色ヲ知ル能ハザルコト、爲ルデアラウ、之ニ依テ專制ノ弊カ防レ



得ル、法律意思トシテハ國家ノ唯一ノ權力意思デアアルガ、立法スル場合、行政スル場合、裁判スル場合ニ於テ各其裏面ノ構成分子ガ異ルカラ一人若ハ一種類ノ人ガ自由我儘ヲ爲ルコトガ出來ヌト云フ結果ト爲ル、是レガ立憲政體ノ要求デアリマス

憲法ガ特ニ立法、行政、司法ノ三權ヲ分ツト云フハ全ク此意味ニ外ナラヌノデアアル併シ此事ヲ誤解シテ君主ノ意思ヲ以テ國家ノ意思トスルト云フ大體ノ本則ト矛盾スル説明ナリト見テハナリマセヌ、三權分立ノ趣意ハ三權ニ伴フテ全然絕對ニ別種ノ自然意思ガ働カネバナラヌト云フ意味デモナク、又實際上其必要モナイ、唯一人ノミノ意思ガ獨リ專ニ働カナケレバ其レニテ分權ノ目的ハ達シテ居ル又立法スルモ行政スルモ裁判スルモ歸スル所我政體ニ於テハ君主ノ意思デアアル、唯君主タル自然人ノ自然意思ニ憲法上他ノ自然意思ガ參加シテ居ル、此參加スル自然意思ガ各異ツテサヘ居レバ君主ノ意思ハ統治全體ニ洽ク通ズルモノトシテ何等分權ノ精神ニ矛盾スル所ハナイ、例バ君主ガ立法スルニハ議會ノ議決ヲ要スル又君主カ司法權ヲ行使スルニハ裁判官ノ判決ニ依ル、而シテ大權ハ君主獨リ之ヲ行フ、總テ皆君主ノ權力、君主ノ意思ノ働デアアルガ、之ニ加味セラレタル自然意思ノ

各異ルコトニ依テ分權ノ意味ガ違シ遂ゲ得ラル、此趣意ヲ能ク了解セネバナリマセヌ

「法治國ノ制度」ト云フハ國權ノ特定ノ場合ニ特定ノ人ニ對シテ働ク、動作ハ法則ニ遵由セネバナラヌト云フ主義デアアル、此事ハ今日我々立憲ノ政治ノ下ニ在テハ殆ド當然ノ如クニ思フガ、此主義ヲ確立スルコトガ立憲政體ノ大主義デアツタノデアリマス、專制ノ時代ニ於ケル弊害ハ豫メ法則ヲ設クルコトナク唯臨機應變ノ處置ヲスル、人ヲ刑罰ニ處スルガ如キ事スラモ豫メ刑法ヲ定ムルト云フ必要ヲ見ナカツタ時代モアル、租稅ヲ取ルモ警察權ヲ行フモ同シ事デアアル、又縱シ法則ヲ設クルモ政府ハ法則ニ拘束セラル、ト云フ主義ハ立ツテ居ラナカツタ、時ニ臨ミ便宜ニ應ジテハ法則ニ據ラザル處置ヲ爲シテ、君主ノ意思デアルトカ、又ハ國權ノ行動デアルトカ云フコトガ證明セラル、早人民ハ何等服從ヲ拒ムコトハ出來ナカツタノデアアル、是ガ專制政體ノ弊害ノ具モ大ナルモノデアアル、之ヲ矯メテ防グガ爲メニ立憲政體ガ起ツタ、即チ國權ノ行動ハ豫メ定メタル法則ニ據ルト云フノ主義デアアル、此主義原則アルナレバヨソ憲法ヲ作レバ之ニ依テ人民ノ自由ガ

憲法 統治權ノ作用 統治權



保障セラルル此主義ハ立憲制度ノ根本ノ基礎デアツテ三權分立ノ主義ト俱ニ政體ノ坤軸ヲ成スモノデアアル  
統治權ノ憲法上ノ行動トシテハ此二ツノ主義ヲ能ク了解シテ然ル後ニ細目ヲ論ズベキモノデアアルカラ時ノ許ス限リ大體ヲシテ置イタノデアリマス

### 第二章 大權

統治權ノ憲法ノ上ニ働ク形式ハ分チテ大權ト立法權ト司法權ト三ツノモノトスル此三ツノモノガ各異ツタル機關ニ依テ働クト云フコトガ憲法ノ精神デアリマス大權ハ國務大臣及樞密顧問ノ輔翼ニ依テ之ヲ行フ立法權ハ議會ノ協贊ニ依リ司法權ハ裁判所ニ依リテ行ハシムルノデアアル斯ノ如ク權力ノ行動ヲ分ツト雖モ之ハ皆憲法上ノ行動デアツテ其本ヲ謂ヘバ皆君主一人ノ統治權ノ行動デアアルコトハ言フヲ誤タザルノデアリマス而シテ各機關ヲ分ツト云フ意味ハ唯機械的ニ事務所ヲ分ツト云フ意味ノミデアアル機關ヲ組織スル自然人ノ自然意思ヲ分離シテ混同セズト云フコトガ權力ヲ分ツト云フ意味ヲ成スノデアリマス此事ハ前回ニ精シク述ベタルコトノ思フ

大權

大權トハ天皇ガ親裁專斷シテ行フ憲法上ノ行動ノ意味デアリマス親裁專斷ト云フハ統治機關ノ議決ニ拘束セラレズ又ハ統治機關ニ其權力ヲ委任セズ自ラ獨リ專ラニ行フノ意味デアリマス前ニ大權ノ行使ニ付テハ國務大臣ノ輔弼アリ又樞密顧問ノ諮詢アルト云フコトヲ述ベタガ此輔弼ト諮詢トハ大權ノ親裁專斷ト云フコト、牴觸スルモノデハナイ大臣ノ輔弼ハ唯君主ニ意見ヲ奉テ參考ニ供スルコトデアアル樞密顧問ニ諮詢スルモ固ヨリ同シ事デアアル立法ノ場合又ハ裁判ノ場合ハ唯參考ノ爲メニ議會若ハ裁判所ノ意見ヲ聞クモノデハナイ其決定ニ依ルニアラザレバ法律ヲ制定シ事件ヲ判決スルコトヲ得ザルノデアアル此區別ガアルカラ大權ハ大臣及顧問ノ輔弼アリト雖モ君主カ親裁專斷スルト云フコト、牴觸モズ斯ク解スベキノデアリマス  
抑立憲ノ趣意ヲ考フレバ元前ニハ萬機皆專斷デアリシガ其内ノ或事ヲ特ニ議會ヲ設ケ又特ニ裁判所ヲ獨立セシメテ之ヲ依リテ行ハシメタルノデアリマス故ニ憲法ニテ特ニ機關ノ權限ニ讓ラザル事ハ尙ホ專制時代ニ於ケルガ如ク君主ノ專斷ニテ行フノデアアル此事ヲ論シテ君主ノ憲法上ノ大權ト云フノデアリマ

憲法 統治權ノ作用 大權



ス、專制ノ政體ニ於テハ特ニ君主ノ大權ト云フ區別ヲ爲ス必要ガナイ、總テノ事皆大權デアアルカラデアアル、此區別ヲ爲スニ至リシハ憲法ヲ定メタルノ結果デアリマ  
 ス  
 我憲法ニ大權ト云フコトハ之ヲ君主ノ法  
 巴ノ國法論ニハ多ク斯ク解スル、其レハ彼  
 アル、立法權ヲ以テ國家最高ノ權力トスルカラ法律ヲ以テ特ニ君主ニ委任シテ立  
 法權ガ君主ニ與ヘタル特別例外ノ權利ト看做スノデアアル、之ハ我憲法ニ付テハ全  
 ク本末ヲ顛倒スル見解ト爲ル、寧ロ其反對デアツテ立法權ト云ヒ司法權ト云フハ  
 君主ガ憲法ヲ以テ議會及裁判所ニ特ニ與ヘタルノ權力デアアルト見ルベキデアリ  
 マス、此故ニ憲法全體ノ解釋トシテ其法文上特ニ議會及裁判所ノ權限ニ附與セザ  
 ルモノハ總テ皆君主ノ大權ニ屬スルモノト解スベキノデアリマス、外國ノ君主ノ  
 特權ト云フ觀念ト我大權ノ觀念トノ精神ノ差異ハ重要ノ事デアアルカラ記臆セネ  
 バナリマセヌ  
 大權ト云フ觀念ト大權事項ト云フ觀念トハ之ヲ混同シテハナラヌ、大權事項トハ

憲法ニ特ニ列記シテ大權ニ屬スル旨ヲ掲ゲタル事項デアリマス、例ハ憲法第一章  
 ノ各條ニ天皇ハ陸海軍ヲ統帥ストカ、或ハ天皇ハ條約ヲ締結ストカ、官吏ヲ任免ス  
 ルトカ、種々具體的ニ事物ヲ列舉シテ特ニ天皇之ヲ行フト云フコトヲ明記シテア  
 ル、是等ノ列記ノ意味ハ是等ノ事項ハ君主ノ大權ヲ以テ行フコトヲ憲法上ノ要件  
 トスル意味デアツテ議會ノ權力ヲ以テ之ニ干涉スルコトヲ許サハル意味デアアル  
 憲法列記ノ大權ノ事項ハ固ヨリ大權ヲ以テ之ヲ行ハザルベカラザルモノデアアル  
 然レドモ大權ヲ以テ行フコトヲ得ル事物ハ之ニ止ルノ意味デハナイ、列記以外ノ  
 事デアツテモ大權ヲ以テ之ヲ行フコトヲ妨ケザルノデアリマス、大權ト云フ觀念  
 ハ形式上ノモノデアアル、君主ノ親裁專斷ト云フコトデアアル、故ニ大權事項ノ觀念ヨ  
 リハ廣イ、憲法ニ特ニ大權ヲ以テスベク立法權ニ依ルモノニアラズトシタルモノ  
 ガ所謂憲法上ノ大權事項デアツテ之ハ大權ヲ以テ行フコトヲ要スル政務デアアル  
 此區別ヲ知ルコトガ又甚ダ重要デアリマス  
 大權ハ之ヲ委任スルコトヲ得ルカ、我輩ノ觀念ニテハ委任スルヲ許サズト解釋シ  
 マス、大權ハ君主ノ親裁專斷ニ屬スルト云フ意味ハ君主ガ親裁專斷スルコトヲ憲



法カ必要ナリト見テ之ヲ要求シテ居ルモノト思フ、之ヲ議會ノ權限ニ委任スルモ君主ノ自由デアルト云フ意味デハナイ、若シ斯ノ如ク解釋スレバ憲法ガ大權ノ制度ヲ設ケ特ニ大權ノ事項ヲ列記シタルコトガ無意味ト爲ル、且政治上ノ精神ヨリ推シテ考ヘテ見テモ或種類ノ政務ハ特ニ祕密ヲ要シ又特ニ敏速ヲ貴ブ、之ヲ君主以外ノ人ノ專斷ニ任カストカ、之ヲ議會ノ議決ニ付スルトカ云フコトハ政略ノ宜シキヲ得ザルモノデアルト考ヘテ憲法ハ特ニ之ヲ大權トシタルノデアアル、例バ法律ヲ裁可スルトカ、陸海軍ヲ統帥スルトカ、條約ヲ締結スルトカ、宣戰講和ヲ爲ストカ云フ類ノ事ハ憲法ハ君主一人ガシテモ議會ニ其權ヲ委ネテモ如何様デモ宜シイト云フ意味ニテ定メタルモノデハナイ、必ズ君主一人ノ專斷ニ依ルコトガ必要デアルト見テ斯ク定メタルモノデアアル、故ニ我輩ノ考ハ大權ハ之ヲ統治ノ機關ニ委任シテ行ハシムルハ憲法ノ意ニアラズト解スル、此意味ヲ確ムルニハ特ニ攝政ノ制度ヲ憲法ニ設ケタルニ由リテモ知ラル、天皇ガ大政ヲ親裁專斷スル能ハザルトキハ特ニ攝政ヲ置テ大權ヲ行ハシム、其レガ唯一ノ例外デアアル、攝政ニアラザレバ君主ニ代リテ君主ノ大權ヲ行フコトヲ許サザルノデアアル、憲法ハ唯此唯一ノ

六

例外ヲ示シテ居ル、之ニ由リテ觀テモ憲法ノ精神ハ君主ガ自己ノ隨意ニ他人ヲシテ自己ニ代テ大權ヲ行ハシムルコトヲ許サザルニ在ルコト恐クハ明白ナラン、是等ノ事ヲ綜合シテ我輩ハ大權ハ之ヲ機關ニ委任スルコトヲ得ザルモノト見ルノデアリマス、此事ニ關シテハ憲法ヲ説ク者ノ内ニ或ハ我輩ト異ツタル意見モアルデアラウ、併シ未ダ此論決ヲ翻スニ足ル有力ナル理由ヲ認メ得ザルノデアリマス、或ハ大權ヲ國會ニ委任スルコトハ出來ヌガ、行政官府ニ委任スルコトハ差支ナイデアラウ、何トナレバ行政機關ハ君主ノ大權ニテ監督シ支配スルモノデアアルカラデアルト云フ見解ガアルカモ知レヌ、之ハ唯我輩カ自ラ想像シテ言フノデアアル、併シ此論ハ論理カ徹底シテ居ラヌ、元、委任スルト云フハ自ラ任意ニ之ヲ與ヘ任意ニ之ヲ奪フ自由アルモノデアアル、若シ行政官府ニ委任スルコトガ差支ナイナラバ立法ノ機關ニ委任スルモノ同シ道理ニテ差支ナキ筈デアアル、委任ヲ濫用スルト思ハ、何時ニテモ委任ヲ取消シ權力ヲ恢復シ得ルコトガ委任ノ委任タル本來ノ性質デアアル、之ヲ全然拋棄シ讓渡スコトデハナイ、故ニ行政ノ官府ニ委任シテ差支ナクバ立法ノ官府ニ委任シテモ差支ナキ筈デアアル、然レドモ憲法ノ意味ハ決シテ左様ナ



ルコトデハナイ、政略ノ上ヨリ觀テモ其精神ニアラザルハ明白デアアル、例ハ法律ヲ裁可スルノ大權ヲ大臣トカ知事トカニ委任シテ行ハシムト云フガ如キハ決シテ憲法ノ豫期スルコトデハナイ、故ニ大權ヲ委任スルト云フハ何等ノ機關タルヲ問ハズ攝政ガ代テ行フノ外ハ絶對ニ爲スベカラザルモノデアアルト解スルガ憲法ノ趣旨ヲ得タルモノデアアルト思フ、之ガ我輩ノ説デアリマス、併シ世上頗ル反對論モアルカラ尙ホ取捨選擇爲サル、ガ宜シイ

大權ノ範圍ハ前ニ言ヘル通り、憲法上ノ立法事項アリ、又大權自由ノ事項アリ、又憲法上ノ大權事項有テ之ニ依テ消極的ニ積極的ニ自ラ定ツテ居ルモノデアアル、憲法上立法事項ト特ニ列記シテアル事項ハ大權ヲ以テ定ムルコトヲ許サハルモノデアアル、之ガ消極的ノ限界デアリマス、憲法上ノ大權事項ハ必ズ大權ニ專屬スル事項デアアル、之ガ積極的ノ大權ノ範圍デアアル、而シテ憲法ニ大權ノ事項ナリトモ又ハ立法ノ事項ナリトモ特ニ列記明言セザル事項ハ大權ヲ以テ行フコトヲ得ル範圍デアアル、行フコトヲ得ルト云フハ大權ヲ以テ定ムルモ爲シ能フモノデアアル意味デアリマス、之ハ後ニ立法事項ノコトヲ説明シ法令ノコトヲ説クトキ再ビ精シク述ブ

ル、是レ所謂法律ト命令トノ共同ノ範圍デアアル、故ニ法律ガ既ニ定メタルコトハ大權ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ズト云フ原則ガアル、之ニテニツノモノ、抵觸ヲ避ケテアル、例ハ教育ノコトハ憲法ニ立法事項トモ大權事項トモ明記シテナイ、故ニ法令共同ノ事項デアアル、法律ニ抵觸セザル限リハ大權ヲ以テ之ヲ定メ得ルノデアリマス、斯ノ如クシテ觀レバ大權ノ及ブ範圍ハ豫メ事物ヲ列舉シテ悉ク示スコトハ出來ヌ、唯必ズ大權ニノミ依ルベク立法權ヲ以テスベカラザル事項ノミヲ特ニ列舉シテ之ヲ憲法ニ現シタルノデアリマス、實ハ茲ニ大權ノ事項ヲ憲法ノ條文ニ依テ列舉シテ示スベキ筈デアアルガ、講義時間ノ不足ナルガ爲メト又憲法條文ニテ自ラ知ラレ得ルアルトノ所以ヲ以テ各大權事項ヲ説明スルコトハ省テ置ク、憲法第一章ノ内ニ「天皇ハ何々ス」トカ「何々ノ事ヲ行フ」トカ云ヘル條文ハ即チ大權事項ノ列記デアリマス、固ヨリ其條文中「天皇ハ憲法ニ依リ統治權ヲ行フ」ト云フコトハ之ハ特ニ大權事項ト云フベキデハナイ、統治權ヲ行フハ大權デハナイ、統治權自身ノ行動デアアル、憲法ノ條文ニ依リテ統治權ヲ行フニ付キ其下ニ細別シテ大權トカ立法權トカ司法權トカ云フ區別ガ生ズルノデアアル、此事ハ殆ド言フヲ俟タザルノ



デアアルガ之ヲ混シテハナリマセヌ  
 大權ハ委任スルコトヲ得ズト云フ説明ヲシタガ之ニ付テモ一言誤解ヲ防テ置ク  
 大權其モノヲ委任スルコトガ出來ヌト云フ意味デアアル、又大權事項ト列記セラレ  
 タル事項ヲ委任スルコトヲ許サズト云フノデアアル、前ニ言フ大權ノ自由ノ事項ハ  
 大權ヲ以テ行フモ大權ヲ以テセザルモ自由ノ事項デアアル、故ニ此自由ノ事項ニ付  
 テハ大權自ラ定ムル代リニ行政ノ官府ヲシテ定メシムルコトハ何等差支ハナイ  
 例バ教育ノコトヲ大權ヲ以テ親裁專斷シ勅令ヲ以テ定ムルコトモ之ヲ爲シ得ル  
 ト同時ニ官府ノ權限ヲ以テ之ヲ定メシムルモ何等差支ハナイ、此事ハ前ニ言ヘル  
 コト、混シテハナラヌ、論理ヲ正確ニ言ヘバ此場合ハ實ハ大權其モノヲ委任スル  
 ノデアハナイ、大權ニテ定メザルノデアアル、若シ論者ガ此事ヲ指シテ大權ヲ委任スル  
 ト云フナラバ委任ト云フ語ガ或ハ不當デアアル、事實ニ於テ爲シ得ルコトデアアル

立法權

第三章 立法權

「立法權ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ天皇之ヲ行フ憲法ニ此條文ガアリマス、先ツ立法  
 權ト云フ觀念ヲ正確ニスルコトガ必要デアラウ、立法權トハ法律ノ形式ヲ以テ法

則ヲ制定スルノ統治權ノ行動デアリマス、之ガ大體ヲ誤ラザル定義デアアル、之ヲ玩  
 味スレバ自ラ立法權ノ何タルガ了解セラル、  
 立法權ハ統治權ノ憲法上ノ動作デアリマス、統治權以外ニ立法權ト云フ權力アルノ  
 デハナイ、統治權ガ憲法ヲ通シテ行動スル一ノ形式作用デアアル、立法權ヲ獨立自主  
 ノ特殊ノ權力ト見ルハ誤デアリマス、併ナガラ之ト同時ニ憲法ガ立法權ト云フ觀  
 念ヲ特ニ認ムルノ精神ニ涉テ了解セネバナラヌ、學者ガ之ヲ解スルニ二様極端ノ  
 弊ガアル、一方ニハ立法權ハ獨立自主ノ權力デアルト云フ、是レ佛蘭西風ノ憲法論  
 デアリマス、又一方ニハ立法權ハ權力ト云フベキモノニアラズ、唯國家ノ立法スル  
 事務ノ區別デアルト見ル者ガアル、之ガ近頃獨逸ニテ佛蘭西ノ極端ナル三權分立  
 論ニ對シテ起レル反動ノ學說デアリマス、單純ニ之ヲ事務ノ區別ト見ルノデアリ  
 マス、我輩ハ此二ツノ見解共ニ其當ヲ失スルモノト思フ、立法權ハ固ヨリ君主ノ統  
 治權以外ノ自主獨立ノ權力ニアラザルコトハ今言ヘルガ如クデアアル、併シ又之ヲ  
 單純ニ事務ノ區別ト見ルハ憲法ノ精神ヲ知ラザル者デアアル、政府ノ事務ニ權ノ字  
 ヲ附シテ云フハ際限ノナイコトデアアル、警察權トカ、租稅ヲ取ル權トカ、教育スル權



トカ際限ノナキコトデアアル之ハ特ニ權力ト云フ必要ハナイ、國家ノ統治權カ警察  
 スルノデアアル、租稅ヲ取ルノデアアル、若シ此意味ニテ法律ヲ制定スル事務ヲ立法權  
 ト云フナラバ寔ニ獨逸多數學者ノ言フ通り「權」ノ字ハ不用デアアル「立法」ト云ヘバ事  
 足リテ居ル、又憲法ニ特ニ大權、立法權、司法權ト三ツノ區別ヲノミ掲グル必要ハナ  
 イ、併シ憲法ノ精神ハ此三ツノ區別ヲ特ニ掲ゲテ之ヲ權力ト云ヒ之ヲ分ツコトガ  
 其本旨デアアル、此精神ハ前ニ屢言ヘル通り、唯我輩ノ自説トシテ唱ヘル國家ノ法律  
 意思ト之ヲ成立セシムル自然人ノ自然意思トノ區別ヲ見ルコトニ依リテノミ了  
 解セラル、例バ警察ヲスルモ、教育ヲスルモ、租稅ヲ取立ツルモ皆同シ人ノ同シ意  
 思ニテスルコトデアアルカラ之ヲ各權力ノ區別ト云フ必要ハナイ、然ルニ立法スル  
 國家ノ法律意思ハ大權ヲ行フ國家ノ法律意思ト之ヲ組立ツル要素タル自然意思  
 ガ異ツテ居ル、大權ハ君主タル一自然人ノ一自然意思ノミヨリ働テ居ル、立法權ハ  
 君主ノ意思ト國會ノ議員タル自然人ノ許多ノ自然意思ガ結合シテ以テ國家ノ法  
 律意思ヲ成立セシメテ居ル、表面ニ現レテ外部ニ對スル場合ニハ此内部ノ區別ハ  
 消滅シテ唯國ノ統治權トシテ行動スル、去レドモ其内部ニ於ケル法律意思ノ成立

ノ要素ガ異ツテ居ルカラ此區別ヲ指シテ權力ノ別ト云フノデアアル、此精神ヲ玩味  
 スルニ依テ始テ立法權ト云フ憲法上ノ觀念ガ了解セラル、デアアラウ、此意味ニテ  
 茲ニ立法權ハ憲法上ノ權力ノ一デアアルト言フノデアリマス、權力ハ意思デアアル意  
 思ノ異ルガ故ニ權力ガ異ルト言フノデアリマス、此趣意ハ立法權ノコトノミナラ  
 ズ、總テノ方面ニ付テ我輩ノ説明ノ根本トナルコトデアアルカラ之ヲ應用シテ推測  
 シテ了解セラレムコトヲ請ヒマス

立法權ノ性質ハ統治權行動ノ一形式デアアルト云フコトニテ盡サレテアリマス、唯  
 歐羅巴諸國ノ國法論トシテハ種々異リタル彼ノ歴史ニ基クノ特殊ノ思想アルガ  
 故ニ却テ疑ヲ生ズルコトガアリマス、日本憲法ノ單純ナル解釋ト歐羅巴ノ國法ニ  
 於ケル政治上特殊ノ解釋トハ區別シテ混ゼザルコトヲ要シマス、例バ歐羅巴ニテ  
 ハ立法權ハ國家最高ノ權デアアルト云ヒマス、恰モ行政權、司法權ハ立法權ノ下ニ在  
 ル第二等ノ權力デアアルカノ如クニ想像シテ居リマス、之ハ我國法ニハ採用スベカ  
 ラザルノ觀念デアリマス、唯一ノ統治權カ立法シ行政シ裁判スルノデ、三ツノ權力  
 作用ガ獨立シテ存在シ其中ニ就テ上下ノ差等アルモノデアアリマセヌ、之ヲ獨立



ノ權力ト見ルコトガ本來誤デアリマス、蓋歐羅巴人ノ此觀念アルハ法律ヲ以テ國家最高ノ意思ト看做スカラデアリマス、併シ我國ニ於テハ法律ハ命令ヨリハ力強シト云フベキモ憲法ノ下ニ在ルモノデアリマス、故ニ國家最高ノ意思ハ法律ニアラズ寧ろ憲法デアリマス、此點ヨリ見テモ立法權ヲ以テ國家最高ノ權ト看做スハ誤デアリマス

或ハ又立法權ヲ直ニ國會ノ權力ト看做ス者ガアリマス、之ハ固ヨリ法理論トシテ不當ナルハ言フヲ俟タザルノデアツテ、我憲法ニテハ國會ハ君主ガ立法權ヲ行フノ機關トナツテ居リマス、立法者ハ君主デアアル、故ニ憲法ノ明文ニモ「天皇ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ」トアリマス、<sup>(五)</sup>立法權ヲ行フ所ノ主體ハ君主デアアル議會ハ法律ノ案ニ對シテ協贊スルノデアリマス、君主ト國會トノ關係ヲ論ジテ二ツノ者ガ合同、同行、爲スノデアルト説ク人モアリマス、合同、同行、爲ト云フハ二人以上ノ人カ合同シテ對等ノ地位ニ在ツテ、共同ノ目的ヲ達スル爲メニ働クノヲ謂フノデアリマス、今君主ト議會トガ合同シテ立法スルト云フハ我憲法第五條ノ明文ニ反シマス、君主ガ立法スルニ付テ議會ノ議決ヲ經ルコトヲ要スルノデアアル、議會

ノ同意ガ必要デアアルカラト云フテ、立法行為ソレ自身ヲ君主及議會兩者ノ合同、同行爲デアルト論ズルハ不當デアリマス、事柄ハ大變違ヒマスケレドモ子ガ婚姻スルニハ親ノ同意ガ必要ナルコトモアル、併シ親子ガ合同シテ婚姻スルノデアリマセス、一人ガ當事者トシテ或事ヲ行フニ付キ其前置條件トシテ、他人ノ同意ヲ必要トスルト云フコトハ珍シカラヌコトデアリマス、其本人ノ行為タルコトヲ妨ゲザルノデアリマス

立法權ノ範圍ハ憲法ニテ定ツテ居リマス、憲法ニテ之ヲ定ムルニ概シテ二ツノ方法ガアツテ、一ツハ原則主義ト云ヒ、一ツハ列記主義トデモ稱フベキモノデアリマセウ、實例ヲ以テ云ヘバ佛蘭西系統ノ諸國ノ憲法ニ於テ採用セル主義ト我憲法ノ主義トノ差異デアリマス、原則主義トハ凡ソ人ノ自由ヲ束縛シ、權利ヲ制限スルノ法則ハ總テ法律トシテ之ヲ定ムベシト云フノデアリマス、故ニ立法權ノ範圍ハ事苟モ人身ノ自由權利ニ關係スルコトデアアルナラバ、必ズ皆之ガ立法事項トナツテ立法權ノ範圍ニ必ズ屬スベキモノデアルト見ルノデアリマス、之ガ佛蘭西系統ノ憲法ノ精神デアリマス、列記主義ト云ヘルハ、自由權利ノ制限束縛ト云フ單純ナル



標準ニ依ラズ、箇々別々ノ事項ヲ憲法ニ列記シテ其列記ニ屬スル事項ハ憲法上ノ立法事項デアルトスルモノデアリマス、之カ我憲法ノ採ル所デアリマス、我憲法ノ立法權ノ範圍ヲ定ムルハ一方ニハ消極的ニ、一方ニハ積極的ニ定メテアリマス、消極的ニト云フハ凡ソ憲法上ノ大權事項トシテ憲法ニ列記セラレタルノ事項ハ、法律ヲ以テ定ムルコトヲ得ズ、立法權以外ノ範圍ニ屬スルトシテ居ルノデアリマス、又積極的ニハ憲法ノ條項ヲ以テ必ズ法律ヲ以テ定ムベキコトヲ明言セラルモノハ是レ憲法上ノ立法事項デアアル、立法權ニ專屬スルノ範圍デアリマス、而シテ憲法ノ明文ニ大權事項ナリトモ、又ハ立法事項ナリトモ別段明言ナキ事項ハ、所謂大權、立法權共通ノ範圍デアアル、或ハ法律ヲ以テ定メ、或ハ命令ヲ以テ定ムルコトハ自由デアリマス、之ガ日本憲法ノ主義デアツテ佛蘭西憲法ノ主義ト全ク根據ヲ異ニスル點ノ一ツデアリマス、

憲法上ノ立法事項ハ例ハ憲法第二章臣民ノ權利義務ト題スル所ニ列記シテアル事項ノ如キデアリマス、例ハ納稅ノ義務、兵役ノ義務、居住及移轉ノ自由、或ハ罰ヲ科スルコト、所有權ヲ制限スルコト等ノ如キ、人ノ自由權利ニ關係シテ事ノ重大ナル

モノハ命令ヲ以テスベカラズ、必ズ法律ヲ以テ之ヲ定ムベキコトガ明言シテアリマス、是ガ憲法上ノ立法事項デアアル、此範圍ハ大權ヲ以テ侵スコトヲ得ザルハ明白デアリマス、

憲法ハ大權事項ト立法事項トヲ判然列記シテ分テラルガ故ニ、大權ト立法權トハ衝突矛盾スルコトハナイノデアリマス、大權事項ニモ憲法上ノ立法事項ニモアラザルモノハ、自由立法ノ事項デアリマス、立法權專屬ノモノデアリマセヌ、法律ヲ以テ定ムルコトヲ得ルノデアツテ、法律ニアラザレバ規定スルコトヲ得ザル事項デアリマセヌ、此範圍ヲ法令共同ノ範圍トモ云ヒマス、法律命令共ニ働クノ場合デアツテ此大權立法權共同ノ範圍ニ於テハ、法律ハ命令ヨリモ效力ガ強イノデアアル、此事ハ後ニ法律ト命令トノ效力ヲ述ブル所デ更ニ説クデアリマセウ、

#### 第四章 法律

法律ト云フ觀念ハ狹キ意味ニモ廣キ意味ニモ用キラレマス、憲法ニ法律ト云フトキハ狹キ意味デアツテ議會ノ協賛ヲ經テ君主ガ裁可シテ公布スルハ成文ノ法則デアリマス、法律ハ國家ノ意思ノ發表ノ形式ノ一ツデアツテ議會ノ協賛ヲ經テ之



ヲ發表スルト云フコトハ命令ニ對シテノ特色タル所デアリマス、之ヲ解シテ法律ハ君主ト議會トノ兩者ノ意思デアアル、命令ハ君主一人ノ意思デアルト云フノハ誤解デアリマス、法律又ハ命令トシテ外部ニ現ハル、トキハ總テ皆同一ニ、國家其モノ、意思ノ表示デアアル、内部ニ於テ如何ナル手續ニテ其意思ガ決定セラル、ニ至リシカハ、外部ノ效力ニ付テ關係ナキコトデアリマス、故ニ法令ハ共ニ國家ノ意思デアアル、而シテ我國體ニ於テハ天皇ノ意思即チ國家ノ意思ヲ成スノデアアルカラ、君主ノ裁可ニ依テ之ガ國家ノ意思トナルノデアリマス

法律ハ法則デアアルヤ否ヤト云フコトハ學者論トシテ研究セラル、所デアリマス我輩ハ憲法ノ趣意ハ法則ヲ設クル爲メニ立法權アルノデアルト解釋シテ居リマス、併ナガラ實際ニ於テハ法律ト云フ形式ガ事實法則ノ實質ナキ事ニ準用セラルルコトガアルノデアリマス、素ト法則ヲ設クルニハ議會ノ協賛ヲ要スルト云フ意味デアリシモノガ後ニ變リマシテ、議會ノ議決ヲ經タルモノハ法律デアルト云フコト、ナツタノデアアル、故ニ外國ノ憲法ヲ註釋スルトキニハ特ニ注意ヲ要シマス

佛蘭西語デ「ロア」又ハ獨逸語ニテ「ゲゼツ」ト云フ言葉ハ、通常譯シテ法律ト云ヒマス

ケレドモ、必ズシモ民法、刑法等ノ如キ權利、義務ノ準則タル法則ヲ實質トセズ、單純ナル處分行爲ヲ實質トスルコトガアリマス、例バ某大將ハ戰功アリシニ付キ金幾萬圓ヲ贈與スト云フガ如キ單純ナル議決ガ、外國ニテハ法律第何號トシテ發布セラル、ノデアリマス、故ニ學者ガ法律ニ二種類アリ一ハ實質的法律、一ハ形式的法律デアルト云ヒマス(獨逸ヲ參照)

實質的法律トハ法律ノ形式ヲ具ヘ且、法則タル實質アルモノヲ謂ヘルノデアリマス、形式的法律トハ法律ノ形式ハ具ハレドモ法則タル實質ノ具ハラザルモノヲ謂フノデアリマス、例バ「プロイセン」ノ憲法ニテ國ノ境ヲ變更スルハ法律ヲ以テスベシト云フ條ガアルガ、其意味ハ國境ノ變更ハ國會ノ議決ヲ經ベシト云フ意味タルニ止ツテ、法則ヲ必要トスルト云フ意味デハナイノデアリマス、我憲法ニ於テモ稍此疑ガアリマス、併ナガラ概シテ之ヲ論ズルトキハ我憲法ニテ謂フ法律ハ所謂實質ト形式ト二ナガラ兼テ具フル所ノ國家ノ意思ヲ謂ヘルノデアルト解シテ誤アリマセヌ、故ニ法律ヲ斯ノ如ク定義シテ前ニ示シタルノデアリマス、法律ハ成文ノ法則デアツテ議會ノ協賛ヲ經テ裁可シ、公布セラレタル國家ノ意思デアアル、君主ノ



命令デアルト解スルノデアリマス  
 之ヨリ立法ノ手續ヲ説明シマス、立法手續トハ法律ノ成立スル憲法上ノ要件ノ意味デアリマス、此要件ハ四ツアル、(第一)法律案ノ提出、(第二)法律案ノ議定、(第三)裁可、(第四)公布デアリマス

第一 法律案ノ提出トハ、法律トナサント欲スルノ草案ヲ議會ノ議ニ付スル意味デアリマス、法律案ヲ提出スルノ權ハ、政府、貴族院、衆議院此三ツノ者ニ存シマス、此權ハ各平等ニ有シテ區別アリマセズ、或國ニ於テハ、上下兩院提出權ニ付テ權能ニ差異アルモノモアリマス、併シ我憲法ニハ政府、上下兩院三ツノ者ハ平等ニ同一ニ提出權ヲ有スルモノト定メテアリマス、法律案ヲ提出スルモノハ右ノ三ノモノデアツテ、議員何ノ某ト云フ個人ガ提出スル權ヲ有スルモノデアリマセズ、通常何ノ某ガ法律案ヲ提出スルト云フハ、實ハ憲法ニ謂フ提出權ノ行使ニハアラズシテ、發議權ヲ行フノデアリマス、之ヲ法律案トシテ他ノ議院ニ提出センコトヲ希望スルノ發議デアリマス、法律案ハ衆議院ヨリ貴族院ニ、又ハ貴族院ヨリ衆議院ニ若ハ政府ヨリ提出スルモノデアツテ、議員タル何ノ某ト云フ個人ガ提出スルモノデアハ

アリマセズ、發議ノ權ト提出ノ權トヲ混ジテハナリマセズ、提出權ニ付テハ憲法上唯一ツノ制限ガアリマス、ソレハ憲法第三十九條ニ兩議院ノ一ニ於テ否決シタル法律案ハ同會期中ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ストアル、之ハ此文字モ趣意モ明白デアツテ別ニ説明ヲ要セズト思ヒマス、無用ノ審議ヲ省クノ意ニ外ナラズノデアリマス、法律案ハ未ダ議定ニ至ラザル前ナラバ提出者ハ之ヲ撤回シテ、再ヒ修正ヲ加ヘテ提出スルコトハ妨ナイノデアリマス、否決セラレタルモノヲ再ヒ提出スルノハ許サルノデアリマス

第二 法律案ノ議定ト云フハ、議會ノ兩院ガ同一ノ案ニ付キ同一ノ議決ヲ爲シタルコトヲ意味スルノデアリマス、一院ノ否トスル所ハ議定ニ至ラザルノデアリマス、兩院同ジ議決アルコトヲ要シマス、同一ノ案ニ付キ、兩院ノ議決異リタルトキハ兩院協議會ヲ開クノ制度ガアリマス、協議會ト云フハ各院ヨリ各同數ノ委員ヲ選ミ會合シテ協議セシメ、協議會ニテ成立シタル案ヲ再ビ各議院ニ回付シテ修正ヲ加ヘズシテ協議會成立ノ案ニ就キ議決ヲ採ルノデアリマス、若シ斯クシテ兩院ノ議尙ホ一致セザルトキハ固ヨリ廢案デアリマス、之ガ兩院協議會ノ制度デアツテ



兩院調和ノ手續ヲ定メタルモノデアリマス

法律案ノ議定ト云フハ國會ノ意思ノ決定デアリマス、併ナガラ國會ノ意思ト云フハ形容ノ言葉デアツテ、法理上議會其モノヲ以テ意思ノ主體ナリト看做ス意味デハアリマセヌ、之ニ付テハ種々異ツタル解釋モアルデアリマセウ、議會ガ意思ノ主體ナリト云フ說モアルデアリマセウ、併シ私ノ解釋シテ居ル所ヲ以テ云ヘバ議會ヲ組立ツル所ノ議員各個人ハ自然人デアルカラ自然ノ意思ヲ具ヘテ居ルノデアリマス、其多數ノ意思デ憲法及議院法ノ規定ニ依ツテ議會ノ議決ト名ケラル、ノデアアル議員個々別々ノ人ヲ算ヘテ示スコトノ代リニ、總括的ニ議會ノ議定デアルト云フノデアリマス、議會其モノヲ以テ獨立ノ意思ノ主體トナス譯デハナクシテ意思ハドコマデモ議員タル各個人ノ意思デアリマス

凡ソ議院ノ議決ハ多數決ニ依ルト云フコトガ現今ノ法律トナツテ居リマス、併シ之ハ全ク機械的ノ定デアツテ、當然ノ條理ト心得ルハ誤デアリマス、或ハ全會一致ヲ要ストスルモ、三分ノ二以上ノ一致ヲ要ストスルモ多數ノ決ニ從フモ或ハ少數ノ決ニ從フモ全ク便宜ノ問題デアアル、多數ハ多數ナルガ故ニ少數ヲ壓制シ得ベキ

先天的當然ノ道理アツテ然ルモノデアアルカノ如クニ想像スルハ迷信ノ一ツデアリマス、何ガ故ニ多數決ニ依ルカト問ハ、法律第何條ノ規定アルカラデアルト答フルノ外ハナイノデアリマス

第三 裁可ハ法律案ヲ國ノ法律トナス主權者ノ意思ノ表示デアリマス、法律案ハ議會ノ議定ニテ確定シ而シテ裁可ニ依ツテ之ガ法律タルノデアリマス、裁可ナケレバ法律ナク裁可以前ニハ唯法律ノ案ノミデアアルノデアリマス、未ダ法律ナルモノ存在セザルノデアリマス、故ニ裁可ハ立法ノ行爲デアルトモ云ヒマス、立法ト云フコトヲ法律ノ成就スル瞬間ヲ指スコト、解スレバ裁可ハ即チ立法行爲ナリト云フテ差支アリマセヌ、唯通常立法ト云フコトヲ法律制定ニ必要ナル條件ヲ履行スルコトニ充テ、用キマスカラ斯ク解スレバ立法行爲ハ法律案ノ提出ニ始リ種種ノ階段ヲ經テ成立スルモノデアルト見ルノデアアル、裁可ハ大權ノ行動デアアル、若主ガ之ヲ可トシテ法律トスルノ行爲デアリマス、尙ホ裁可ニ就テ多少誤解ガアリ得ルカラ辯解シテ置キマセウ

裁可ハ議會ニ對シテ返答スルコトデアアリマセヌ、英國風ノ憲法ニテハ法律ハ君



主ト上下兩院トノ合意約束ノ如クニ想像シテ居リマシテ君主ガ議院ノ申込ニ對シ又ハ請求ニ對シ承諾ヲ與フルコト、想像シテ居リマス、故ニ所謂裁可ハ國會ニ對シテ同意ヲ表スルコト、見テ居リマス、之ハ我憲法ニハ採用スベカラザルノ觀念デアアル、裁可ハ寧ロ國民全體ニ對シテ命令スルノ意思ヲ顯スノ方法デアリマス、議會ニ對シテ可否ノ批評ヲ爲スコトデアリマセス、故ニ英國風ノ裁可ニハ裁可ト云フコト、不裁可ト云フコト、ノ二ツノ方式ガアリマス、議會ニ返答スルコトト見ルカラ同意スルトカ同意セストカ云フ、消極積極ノ形式ガアリマス、日本ニハ裁可ハ式アルハミデアツテ不裁可ハ式ハアリマセス、不同意ヲ謂フ必要ガアリマセヌ、何トナレバ國會ニ對シテ返答ヲ爲ス趣意デナイカラデアリマス、君主ガ可トスルモノハ裁可シテ之ヲ發表スルノデアアル、可トセザルモノハ唯手許ニ留メ置クノミデアアル、何等外部ニ對シテ返答スル必要ハナイノデアリマス、議會ノ議決ハ君主ノ參考ノ爲メニ意見ヲ述ベタルコトニ止ルノデアリマス

裁可ニハ式ガアツテ公布式ト云フ勅令ノ現行ノ規定ガアリマス、法律ノ成文ニ御名ヲ署シ御璽ヲ鈐シ國務大臣之ニ年月日ヲ記シテ副署ヲスルコトニ依ツテ裁可

ノ式ガ終リマス、裁可ニ依ツテ法律ノ原本ガ成立スルノデアリマス

第四 公布ハ法律ガ成立シタルコトヲ公ニ示スノ式デアリマス、法律ハ裁可ニ依リテ成リ、其成立シタル法律ヲ公布スルノデアリマス、法律ノ成立スル時期ニ付テ學者ノ間ニ二ツノ説ガアリマス、公布ニ依ツテ始テ法律ガ成立スルト云フ説ト、裁可ニ依ツテ成立スルト云フノ説デアリマス、私ハ裁可説ヲ採ツテ之ヲ説明シテ置キマス、蓋公布説ハ法律ノ人民及官府ニ對シテ執行セラル、ノ時期ガ公布ニ依ツテ定ルコトヲ見テ之ヲ法律ノ成立ナリト云フノデアリマセウ、今詳シクハ批評シマセヌガ之ハ本來ノ趣旨ニ適ハザル説明デアリマス、我輩ノ見ル所ニテハ裁可ニ依ツテ主權者ノ意思ガ決定セラレテ居ルノデアリマス、法律ハ既ニ成立シテ居ルノデアリマス、憲法第六條ニモ明文アル通り天皇ハ法律ヲ裁可シ而シテ其公布及執行ヲ命ズルノデアリマス、官府ガ命ヲ承ケ公布スルノデアアル、公布ニ依ツテ立法スルニハアラズシテ、裁可ニ依ツテ成立セル法律ヲ人民一般ニ知ラシムル爲メニ公布スルノデアリマス、法律案ヲ公布シテ法律トナスニアラズ、既存ノ法律ヲ公布スルノデアリマス、斯ク解スルニアラザレバ公布ニ誤ノアリシトキニ正誤スルト



云フコトハ、意味ヲ成ササルノデアリマス、法律ノ公布ニ誤ガアツタナラバ正誤ヲスルコトヲ得ルノデアアル、何トナレバ、法律ノ原本ガ其外ニ存スルノデアアル原本ノ寫ヲ官報ニ載セテ公布ヲスルノデアアルカラ、本ト末トノ區別ハ之ニ依ツテモ知ラル、ノデアアル、原本ト公布ト異ル場合ニハ原本ニ依ツテ訂正セザルベカラザルコト、ナルノデアリマス、故ニ裁可ガ法律ノ原本ヲ作ル行爲デアルト見テ差支ナイト思ヒマス、公布ノ意味ハ單純ニ廣ク世上ニ告グルト云フ事實上ノ便宜ノ意味ノミナラズ、法律ノ執行力ヲ起算スル起算點ヲ明ニスルコトハ必要ナノデアリマス、公布ニ依ツテ官府モ人民モ法律ノ成立シタルコトヲ知り、又之ニ依ツテ之ヲ行フベキ義務ヲ負フノデアリマス、公布ナキトキハ外部ノ者ハ之ヲ知ルニ由ナク又外部ニ對シテ效力ヲ生ズルベキ所以ハナイノデアリマス、公布ガ其媒介ヲ爲スノデアアル、公布ニ依ツテ一方ニハ法律ノ存在ヲ示シ、一方ニハ法律執行ノ起算點ヲ明ニスルノデアリマス、事實上裁可ハ内部ノコトデアツテ公布ハ表面ニ現ハル、行爲デアアルカラ裁判官トカ人民トカ云フ地位ニ於テ法律ノ實用ノミヲ見ルトキハ公布ニ重ヲ置キ、官報サヘ見レバ足リルト云フ實際デアアルノデアリマス、唯國法論ト

シテハ法律ノ原本ハ官報以外ニ成立シテ存在スルト云フコトヲ忘レテハナリマセヌ

公布ノ式ハ現今ハ勅令ニテ定メテアリマシテ、官報ニ載セテ公ニスルコトヲ其式トシテ居リマス、併ナガラ之ハ勅令以下ノ今日ノ規定デアツテ、憲法上ハ如何ナル方法ヲ執ツテ公布スルモ自由デアリマス、序ニ官報ニ於ケル法律命令ノ正誤ハ、現今ノ方法ハ餘リニ簡略ニ失シテ公布ノ精神ニ適ハザルコトヲ一言シテ置キマス、之ハ憲法ノ説明トシテ必要ナルコトデモナイガ、裁判官モ人民モ官報ヲ唯一ノ標準トシテ權利義務ヲ論ズルモノデアアルカラ、官報ニ於テ法令ノ文章ニ誤アリシトキハ其影響甚ダ重大デアリマス、然ルニモ拘ラズ官報ノ片隅ニ極ク小サク人ノ注意ヲ故ラニ避クルガ如クニ正誤ヲシテ置クト云フガ如キ現今ノ方法ハ甚ダ不満足デアリマス、且公布ハ總理大臣ノ職權トナツテ居リマスカラ、正誤スルモノモ總理大臣ノ名ニ於テスベキノデアリマス、唯各省ノ書記官トカ或ハ官報局ノ屬官トカハ正誤トシテ之ヲ改ムルノハ甚ダ越意ニ適ハヌコトデアリマス、立法ノ手續ハ概略以上ノ四ツノ條件ヲ以テ成就スルノデアリマス、之ハ憲法上ノ



必要ナル手續デアアル、此要件ノ一ツヲ缺カバ法律タルコトヲ得ザルノデアリマス  
 又法律ノ特殊ノ効力ヲ生ズル所以ハ此手續ヲ經タルコトニ存スルノデアアル、原則  
 トシテ一タビ發セラレタル國家ノ意思ハ之ヲ發シタルト同一ノ手續ニ依ルニア  
 ラザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズト云フノデアリマス、之ガ原則デアアル、故ニ法律  
 ハ此手續ヲ經テ發表ヲセラレテアルカラ、法律ヲ變更スルニハ又再ビ同一ノ手續  
 ヲ經ナケレバナラスト云フノデアリマス、之ガ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ  
 得ズト云フ原則ノ出ヅル所以デアリマス、法律ト命令トハ本來ソレ自身ノ性質上  
 優劣強弱アル譯デアリマセヌ、唯各之ヲ制定スル手續ガ異ツテ居ルモノデアアルカ  
 ラ一ヲ以テ他ヲ變更スルコトヲ得ズト云フノデアリマス

### 第五章 命令

憲法ニ於テ法律ニ對シテ命令ト云ヘルハ議會ノ協贊ヲ經ズシテ君主ノ大權ヲ以  
 テ發スル所ノ國ノ法則デアリマス、特殊ノ形式アル成文ノ法則タル點ニ於テハ法  
 律ト異ルコトハナイノデアアルガ、唯議會ノ協贊ヲ經ルト經ザルトノ點ニ於テ區別  
 アルノデアリマス、此區別ヨリシテ法律ト命令トニ効力ノ差異ヲ生ズルノデアリ

命令

マス、法律命令共ニ其實質的効力ニ於テハ同ジデアアル、實質的効力ト云フハ人ヲ束  
 縛スル効力即チ人民ノ遵奉スベキ義務ニ於テハ二ツノモノ同一デアリマス、唯形  
 式的効力ニ於テ差ヲ生ジマス、形式的効力トハ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ  
 得ズト云フ一般ノ通則ヲ指シテ云ヘルモノデアリマス、尤モ命令ノ種類ニ依リテ  
 法律ニ對スルノ効力ガ異ツテ居ルモノデアアルカラ、一概ニ命令ハ常ニ必ズ法律ノ  
 下ニ在ルト云フコトハ云ハレマセヌ、但議會ノ協贊ヲ經タルモノハ又議會ノ協贊  
 ヲ經ルニアラサレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズト云フ一般ノ通則アルガ故ニ法律  
 ト命令トノ間ニ効力ノ差異ヲ生ズルノデアアル、併シ法律ト命令トノ効力ノ區別ハ  
 種トノ命令ニ就テ各別ニ説クコトヲ必要トシマス  
 凡ソ命令ハ天皇ノ大權ヲ以テ發スルモノデアリマス、而シテ憲法第九條ニ依リテ  
 ハ大權ヲ以テ行政官ニ委任シテ命令ヲ發セシムルコトヲモ認メテアリマス、兎ニ  
 角大權ヲ以テ發スルカ若ハ大權ノ委任ニ依ツテ發スルカノモノデアリマス、委任  
 各云フハ大權其モノヲ委任スル意義ニハアラズシテ、大權ヲ以テ行政官府ニ命令  
 ヲ發セシムルコトヲ謂ヘルノデアリマス



我憲法上ノ命令ヲ別ツテ三ツノ種類トシマス

第一 大權命令

第二 法律ニ代ルノ命令

第三 行政命令

此三ツノ種類ニ就テ各別ニ説明スルコトガ必要デアリマス、何トナレバ命令ノ範圍モ效力モ各種ニ付テ各異ツテ居ルカラデアアル、歐羅巴ノ教科書風ニ論ズレバ命令ハ命令トシテ一概ニ同一效力ノモノデアアルカノ如ク看做シテアリマスガ、我憲法ニテハ各其效力ヲ異ニシテ居リマス、之ハ特ニ注意ヲ要スル所デアリマス

第一 大權命令 トハ憲法上ノ大權事項ヲ其實質トシテ規定スル命令デアリマス、總テ勅令ヲ發スル權ハ素ヨリ大權デアリマス、併シ總テノ勅令ハ必ずシモ茲ニ謂フ大權命令デハアリマセヌ、勅令ヲ以テ大權事項以外ノ事項ヲ定ムルコトモ得ルノデアリマス、而シテ勅令ニシテ其規定スル實質ノ事項ガ所謂憲法上ノ大權事項デアアルモノヲ特ニ名ケテ茲ニ大權命令ト云ヘルノデアリマス、何ガ故ニ特ニ之ヲ大權命令ト名ケテ他ノ命令ト區別スルカト云フニ、他ノ命令ト其效

力ヲ異ニスルガ故デアリマス、憲法上ノ大權事項ノ何タルカハ既ニ前ニ明瞭ニ説明シテアリマスカラ茲ニ再ビ説キマセヌ、例ハ憲法第一章ニ列記セル事項ノ如キデアリマス、此憲法列記ノ大權事項ヲ規定スル命令ハ性質上法律ト對等ノ力ヲ有スルモノデアリマス、大權命令ヲ以テ法律ヲ犯スコトヲ得マセヌ、而シテ又法律ヲ以テ大權命令ヲ變更スルコトヲモ許シマセヌ、二ツノ者兩々併立ツテ相犯スコトヲ得ズト云フ點ガ大權命令ノ特色デアリマス、總テ他ノ命令ハ法律ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ルノデアリマス、唯大權命令ハ法律ヲ以テ變更スルコトヲ得ザルノデ、之ガ效力ノ特殊ナル所デアリマス、何ガ故ニ然ルカ、理由ハ明白デアリマセウ、既ニ大權事項ヲ辨明シタル所ニ云ヘル通り、憲法列記ノ大權事項ハ議會ノ干涉ノ外ニアツテ、君主ノ親裁專斷ニ留保セラレテアル事項デアリマス、法律ヲ以テ定ムルコトヲ許サズ必ず大權ヲ以テ定ムルコトヲ憲法上要求シテ居ルモノデアリマス、故ニ所謂大權命令ハ立法ノ手續ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ザル效力ヲ生ズルノデアリマス、又此理由ニテ法律ト大權命令トハ性質上抵觸スベカラザルモノデアリマス、何トナレバ憲法上ノ立法事項ト大權



事項トハ事項其モノヲ別チテ各其範圍ヲ異ニシテ居ルカラデアリマス、法律ト大權命令トハ別ノ範圍ニ働イテ居ルカラ、相抵觸スル處ハナイ道理デアリマス  
二者各活動ノ範圍ヲ異ニシテ居リマス

第二 法律ニ代ルノ勅令 ハ憲法第八條ニ依ツテ發スル命令デアリマス、天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル爲メ緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發ス、是ガ第八條ノ法文デアツテ此勅令ノ性質ハ明白デアリマス、此勅令ノ實質範圍ハ所謂憲法上ノ立法事項デアリマス、法律ヲ以テスルニアラザレハ之ヲ規定スルコトヲ許ササル事項デアリマス而シテ憲法ノ第八條ニ於テ特ニ其例外ヲ設ケ、緊急已ムヲ得ザル場合ニハ勅令ヲ以テ立法事項ヲ規定シ得ルコトヲ示シタルノデアリマス、之ガ法律ニ代ルノ勅令デアル、此勅令ヲ發スルニハ此條文ニ見ユル通りニツノ條件ガアリマス、一ツハ安寧秩序ノ保持ノ爲メニ緊急ノ必要アルコト、又一ツハ帝國議會ノ閉會中ナルコトデアリマス、素ヨリ緊急ノ必要アルニアラザレハ此勅令ヲ發スルコトヲ許ササルノデアアル、併ナガラ緊急デアルト否トノ認定ハ大權ニ存スルノデア

リマス、又憲法ノ條文ニ依レバ安寧秩序ノ危害ヲ防グト云フ目的ニノミ限ツテ之ヲ發シ得ルノデアリマス、單ニ社會公益ノ爲メデアルカラト云ツテ之ヲ發スルコトヲ許ササル精神デアアル、消極的ニ緊急ノ危害ヲ防グ爲メニノミ之ヲ發シ得ルコト、シテアリマス、狭ク限ツテ災厄ヲ防グノ精神デアリマス、又議會閉會中ニアラザレバ之ヲ發スルコトヲ得ザルノデアアル、之ハ當然ノコトデアツテ開會中ナラバ普通ノ立法手續ヲ執リ得ベキモノデアリマス、併ナガラ憲法第七十條ト財政上ノ緊急處分ノ場合ニハ略之ト相似タル勅令ヲ發スルノデアアルガ、議會閉會中ナラバ臨時會ヲ召集スルコトヲ試ミ、召集スル能ハザルトキニ始テ緊急處分ヲ爲シ得ルノデアリマス、此第八條ノ場合ニハ故ラニ臨時議會ノ召集ヲ試ミズトモ閉會中ナラバ發シ得ルコト、ナツテ居リトス、此勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スベシ若シ議會ニ於テ承諾セザルトキハ政府ハ將來ニ向ツテ其ノ效力ヲ失フコトヲ公布スヘシ、之ガ第八條ノ第二項ノ規定デアリマス、明文通り此勅令ハ後ニ議會ノ議決ニ附シ承諾ヲ經ナケレバナリマセヌ、承諾トハ尙ホ議會ノ協賛ト云ヘルト同ジコトデアアル、歸スル所上下兩院ノ可決ヲ意味



スルニ外ナラヌノデアリマス。デ此承諾ヲ求ムルト云ヘバ過去ノ行爲ニ付キ追認ヲ求ムルガ如ク聞エマス、政治上ノ意味ハ或ハ過去ノ政策ヲ後ニ議會ニ諮ツテ追認ヲ求ムルノ政治的意味ヲ含シテ居ルノデアリマセウ、併ナガラ法律上此勅令ノ效力ヲ論ズル點ヨリスレバ承諾ト云フ文字ハ形容ノ語デアツテ、單ニ議決ト見ルベキデアリマス、若シ上下兩院ガ承諾ヲ與フルナラバ此勅令ハ其形ヲモ性質ヲモ改メズシテ當然ニ將來ニ向ツテ引續キ效力ヲ有シマス、若シ議會ガ承諾ヲ與ヘザルトキニハ此勅令ハ大權ヲ以テ更ニ廢止セザルベカラザルコト、ナリマス、承諾ヲ得ザルト云フハ議會ガ否決シタルトキ又ハ議會ガ如何ナル理由ニテモ議決セザリシトキヲ含ンデ云ヘルノデアリマス、若シモ茲ニ云フ承諾ガ法理上不法ナリシ行爲ヲ後ニ追認スル意味デアツタナラバ議會ノ不承諾ハ當初ニ遡ツテ其勅令ヲ無効トスルコト、ナラナケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ憲法ノ明文ニ依レバ議會ガ否決シテモ將來ニ向ツテノミ勅令ノ效力ヲ奪フ結果ニ止ツテ既往ニ遡ツテ既遂ノ結果ヲ取消スコトヲ得ザルモノトシテアリマスカラ、之ニ依テ見テ

モ茲ニ謂フ承諾ハ法律上ノ見解ヲ以テセバ單純ナル議決デアル、追認ノ意味デナイト云フコトガ明白デアリマス、不承諾ノ場合ニ此勅令ガ效力ヲ失フハ議會ノ議決ノ當然ノ結果ニハブラズシテ、更ニ勅令ヲ以テ之ヲ廢止スル旨ノ公布アルコトヲ要シ其公布ニ依ツテ前ノ勅令ガ廢止セラル、ノデアリマス、通常ノ場合ニ後ノ勅令ヲ以テ前ノ勅令ヲ廢止スルコト、少シモ異ル所ハアリマセヌ、憲法條文ノ解釋ハ之ニテ明瞭デアラウト思フガ、此制度ニ關シテハ外國ノ憲法ノ精神ト異ル重要ノ點ガアリマスカラ附加ヘテ話シテ置キマス、之ト類似ノ規定ハプロイセン或ハ埃地利等ノ憲法ニ在リマス、英國又ハ佛蘭西等ノ憲法ニハ從來明文ヲ以テ之ヲ認メテ居リマセヌ、併シ事實ハ同シヤウナルコトガアルノデアリマス、之ヲ明文ニ認ムル國ト雖モ其理論ニ至ツテハ我憲法ト異ツテ居リマス、此制度ハ蓋英國風ノ憲法上ノ慣例ニ基ケルモノデアツテ、英國ノ制度ヲ模範トシテ外國ニ及ボシタノデアラウト思ヒマス、併シ英國ノ憲法解釋ハ全ク我が憲法ト異ツテ居ル點ガアリマス、簡約ニ要點ヲ話セバ元來英國其他歐羅巴諸國ノ憲法ノ精神ニテハ憲法上ノ立法事項ハ絶對的ニ命令ヲ以テ犯スコトヲ得



ザルモノトシテアリマス、併ナガラ國會ハ常ニ開會シテ居ルモノデモナク國家緊急ノ事件ハ不意ニ起ルコトモアルカラ、此場合ニハ單純ナル憲法ノ文字上ヨリ見レバ、政府ハ唯手ヲ拱イテ傍觀シテ居ラナケレバナラヌ譯デアリマス、併シ政治上ノ實際ハ斯ノ如キ迂濶ナルコトヲ許サルガ故ニ、政府ハ國家緊急ノ危害ヲ救フガ爲メニ已ムヲ得ズ憲法違犯ノ行動ヲ爲シ大權ヲ以テ立法事項ヲ定ムルノデアリマス、故ニ後ニ國會ニ向ツテ政府ハ連帶ノ責任ヲ以テ已ムヲ得ズ憲法違犯ノ行動ヲ爲シタルコトヲ白狀シ、國會ガ政府ノ責任ヲ解除センコトヲ求ムルノデアリマス、之ガ英國ノ憲法ニ謂フ「ビル、オブ、インデミ」ニテ責任解除ノ議決ト云フノデアリマス、國會ガ之ヲ承諾スレバ責任ガ解除セラル、ノデアアル若シ承諾セザレバ政府ノ責任ハ解除セラレザルノデアアル、其憲法違犯ノ措置ハ無效トナルノデアリマス、一口ニ云ヘバ政府ガ責任ヲ以テ憲法違犯ノ行動ヲ爲スト云フ慣例ガアリマス、之ハ法理論トシテ貫徹セザル主義デアリマス、英國ニ於テハ之ガ憲法デアアルカラ外國ノ議論ハ批評セザル所デアアルガ、日本憲法ノ上ニ之ヲ移シテ見ルトキニハ法理上甚ダ不當デアアル、若シモ憲法違犯ノ行動デア

ルナラバ議會ガ議決シタラバトテ憲法違犯ヲ引直シテ適法タラシメ得ルト云フ條理ハナイノデアリマス、又如何ニ國務大臣ガ連帶シテ責任ヲ執ルカラト云ツテモ、大臣皆切腹シテモ憲法違犯ハドコマデモ憲法違犯デアリマス、大臣ガ責任引クナラバ憲法違犯ノ行動ヲ爲シテモ宜イト云フ原則ヲ採ルハ甚ダ危険ナル法律デアリマス、又一方ヨリ見レバ議會ノ閉會中ハ如何ナル國家ノ危害ガアツテモ法律ニ代ル處置ヲ爲スコトガ出來ヌト云フハ愚ノ甚ダシキ至リデアリマス

故ニ我憲法ニテハ英國ノ慣例ヲ認メツ、其法理ヲ採用セズ、緊急ノ場合ニ此命令ヲ發スルハ初ヨリ憲法當然ノ處置デアアル、違憲ニアラズト爲シタルノデアアル後ニ議會ノ議決ニ附スルハ議會開會後ニ於テモ尙ホ之ヲ繼續スベキヤ否ヤヲ問フノデアツテ、過去ノ行爲ノ責任ヲ問フ議決ニアラズトシタノデアリマス、之ニテ憲法上ノ法理ハ整然トシテ條理アルコト、ナツテ説明明白ニナリマス、フロイセン、埃地利等ハ之ヲ憲法ニ認メナガラ尙ホ解釋スル者ハ憲法違犯ノ行動デアアルカラ後ニ議會ノ責任解除ヲ請ハナケレバナラヌト云フノハ、前後ノ條理



矛盾セル説明デアリマシテ、採用スベカラザルノデアリマス

第三 行政命令 ト云フハ憲法第九條ニ依テ發セラル、モノデアリマス、第九條ノ明文ニ在ル通り、天皇ハ法律ヲ執行スル爲メニ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲メニ命令ヲ發シ又ハ發セシムルノデアリマス、此第九條ノ命令ヲ行政命令ト云フハ我輩ガ他ノモノト區別スル爲メニ斯ク名ケタルノデアツテ、便宜ノ名稱デアリマス、第九條ノ實質ヲ見レバ即チ行政ノ實質デアリマス、行政トハ法律ノ執行、秩序ノ維持及公益増進ノ爲メニ法律及大權ノ範圍内ニテ活動スル國家ノ行爲デアリマス、之ガ丁度第九條ノ豫見シテ居ル範圍デアリマス、故ニ行政ノ爲メニ發スルノ命令ト見テ誤リマセヌ

大權命令及法律ニ代ル命令ハ立法事項ヲ實質トシテ居リマス、此第九條ノ命令ハ立法事項及大權事項以外ノ政務ヲ實質トシテ居リマス、之ガ即チ行政ノ範圍デアリマス、此命令ハ大權ヲ以テ發シ又ハ大權ヲ以テ行政官ニ發セシムルコトヲ得ルノデアリマス、官制ヲ以テ行政官府ニ命令權ヲ以テ委任スルハ此第九條ノ範圍ニ限ルコトデアリマス、大權命令及法律ニ代ルノ命令ハ之ヲ官府ニ委任

シテ發セシムルコトヲ得ザルモノデアリマス、此命令ハ法律ヲ變更スルコトヲ得ザルモノデアリ而シテ法律ヲ以テ變更スルコトヲ得ルモノデアリマス(憲法第九條ノ命令)大權命令ハ法律ト併立ツテ相犯シ得ザルモノデアリ、法律ニ代ル勅令ハ法律ヲ變更スルコトヲ得ルト同時ニ又後ノ法律ノ爲メニ變更セラル、ノデアリマス、此行政命令ニ至ツテハ時ノ前後ヲ問ハズ絕對ニ法律ノ下ニ在ルノデアアル、法律ヲ變更スルコトヲ得ズ即チ法律ノ爲メニハ變更ヲ受クルノデアリマス、之ガ效力ノ差デアアルカラ注意シナケレバナリマセヌ

茲ニ尙ホ注意スベキハ歐羅巴ノ國法學ノ教科書ニ於テハ、法律ト命令トヲ併ベテ説明スルニ於テ單ニ廣ク命令ト云ツテ實ハ我憲法ノ第九條ノ命令ノ事ノミヲ意味スルモノガ多イノデアリマス、例バ命令ハ常ニ必ズ法律ノ下ニ在リト云フガ如キハ、我憲法ニ於テハ第九條ノ場合ニノミ適用セラル、原則デアアルガ、外國ノ教科書ニハ之ヲ絕對ノ原則トシテ掲ゲテ居リマス、之ハ詳シク述ベル暇ハナイガ、前ニ示シタ我憲法全體ノ組立ヨリ來ル差異デアアル、大權事項ト立法トヲ分チ各兩々對峙セシメテ相犯スコトヲ得ザラシムル我憲法ノ組立ヨリシテ、命



令ハ必ズシモ常ニ法律ノ下ニ在ルモノトハナラザルノデアリマス、又佛蘭西風ノ憲法ノ解釋ニテハ總テ命令ハ法律ノ委任ニ依ルニアラザレバ發スルコトヲ得ズト云フ精神デアリマスガ、我憲法ニ於テハ此狹キ主義ヲ採ラザルノデアリマス、佛蘭西風ニ云ヘバ命令ハ法律ノ執行ノ爲メ及法律ノ委任ニ依リテ之ヲ發スト云フノデアリマス、我憲法ニハ法律ノ執行ノ爲メノミナラズ、公益ノ爲メ秩序ノ爲メニ獨立シテ命令ヲ發スル權ヲ認メテ居リマス、獨立シテト云フハ法律ヨリ獨立シテノ意義デアツテ、法律ノ委任ナクモ法律ニ牴觸セザル限ハ大權ヲ以テ自由ニ命令ヲ發シ得ルト云フ主義ヲ認メタルノデアリマス、獨逸ノ教科書ニモ此事ヲ論ジテ命令ヲ分ツテ執行命令ト獨立命令トシテ居リマス、法律ノ執行ノ爲メニスルモノト法律ヲ變更セザル限ニ於テ委任ニ依ラズ發スル命令トヲ謂ヘルノデアリマス

我憲法第九條ハ此三ツノモノヲ含デ居ルト解釋スベキノデアリマス、之ヲ以テ憲法上ノ三種ノ命令ノ性質效力ハ略御分リデアリマセウ、之ガ憲法上文上ノ解釋トシテ簡單ナガラ誤ナイノデアリマス

併シ茲ニ注意スベキモノハ、我國法全體ノ議論トシテハ憲法ノ規定ニ依ルノ外尙ホ廣キ意味ニテ云フ國ノ命令ガアリマス、前ニモ云ヘル通り皇室典範ハ皇室ノ事ヲ定ムル法則デアアル、憲法トハ別ニ設ケテアリマスルガ、我國體上皇室ト統治權ノ主體トハ離ルベカラザルモノデアアルカラ、皇室典範ハ憲法ノ條項ニ依ル命令デハナイガ、國家ノ法則ヲ成シマス、又皇室典範ニ基イテ天皇ノ大權ニテ發セラル、所ノ命令モアリマス、之ハ所謂皇室令デアアル、例バ皇室婚嫁令トカ誕生令トカ云フ類デアリマス、之モ素ヨリ典範ニ基ク所ノ國ノ法則デアリマス、是等ノ典範及皇室令ノ效力ハ種々議論モアルデアラウガ、詳シク説明スル時ガナイカラ唯議論ノ結果ノミヲ茲ニ述ベテ置キマス

我輩ノ見ル所ニ依レバ皇室ニ關係スル事ニ付テハ縱令其關係ノ相手方ノ一方ガ人民デアツテモ、皇室典範及之ニ基クノ命令ハ先ヅ第一ニ適用セラル、モノデアアル、之ト牴觸セザル場合若ハ之ニテ認メラレテアル場合ハ普通ノ法律命令ガ適用セラル、モノデアアルト思ヒマス、事皇室ニ關係スルモノニ付テハ普通ノ法律命令ハ適用セズ、典範及典範ニ基ク命令ガ獨立シテ之ヲ定ムルモノデアアルト解スルノ



デアリマス、而シテ典範ハ國家ノ法則ノ一ツデアルカラ憲法ト共ニ、人民モ裁判所モ皆認メナケレバナラヌモノデアルト思フデアリマス、又此外ニ行政ノ組織上公法人ナルモノガ認メラレテアル、公法人ノ議論ハ今直接ニ述ブル暇ハナイガ例ハ市町村ノ如キ自治團體デアリマス、是等ノモノガ條例ヲ發シマス、其條例モ國法ニ認ムル所デアルカラ、實質上行政命令ト同一ノ效力ヲ有シマス、併ナガラ公法人ガ條例ヲ發スルノ權ハ之ヲ組織スル法律ニテ定ムルモノデアアル、憲法第九條ノ規定ハ直接ニ是等ノ條例ヲ見テ定メタモノデアアリマセヌ、條例ヲ發スルノ權ト其範圍、效力等ハ、其權ヲ與フルノ法律ニテ定ルベキモノデアリマス、又尙ホ茲ニ一ツ申述ヘナケレバナラヌ事ガアル

以上ノ三種ノ命令ノ外ニ詔勅ト云フ君主ノ意思ノ發表ガアリマス、之ハ憲法上如何ナル事ヲ詔トシ又ハ勅トシテ發スベキカト云フコトハ限定シテアリマセヌ、唯古來ヨリノ慣例ニ就テ見レバ國ノ大事ヲ人民ニ公布スルトキハ詔書ヲ以テスル尋常ノ事ニハ勅書ヲ以テスルト云フ慣例ガアルノデアリマス、君主ノ大權ヲ行フニ當ツテ、憲法ノ條項ニ特別ノ形式ヲ定メザル事ニ付テハ、詔勅ノ形式ニテ發表ス

ルモ妨ナイノデアリマス、而シテ國務ニ關スル詔勅ニハ命令ト同ジヤウニ國務大臣ノ副署ヲ要スルコトモ憲法第五十五條ニ見エテ居リマス

條約

第六章 條約

條約ト法律命令トノ關係ノ點ノミガ實際ニ必要デアルカラ、之ノミヲ一言シテ置キマス、條約論ハ種々學說ガアルカラ斷定シ難イノデアアルガ、單純ニ一個ノ私見ヲノミ述ベテ置キマス、

條約ハ國ト國トノ約束デアアルカラ人民相互ノ約束デアアリマセヌ、條約ノ效力ハ相手方ノ國家、政府其モノヲ束縛スルノデアアル、人民各個人ガ直接ニ之ニ依ツテ權利ヲ得義務ヲ負フモノデアアリマセヌ、法律命令ハ人民ニ向ツテ權力ヲ以テ權利義務ノ關係ヲ定ムルモノデアリマス、茲ニ於テ條約ノ效力ト法令ノ效力トハ異ルモノデアアル、相手方ヲ異ニシテ居ルト云フ事ガ明瞭デアアル、國ト國トノ關係ハ條約ニテ定ル、國ト個人トノ關係ハ法令ニテ定ル、故ニ法令ヲ以テ外國ニ對スル關係ヲ動スコトヲ得ズ、條約ヲ以テ國家ト人民トノ關係ヲ直接ニ動スコトヲ得ザルノデアリマス、之ガ條約ノ性質デアリマス、併シ實際問題トシテ疑ヲ懷ク者ハ條約ヲ締



結シタルトキハ其條約ヲ國內ニ執行セントスルニ於テ條約ガ人民ニ直接ノ效力ナシトスレバ甚ダ不便デアラデハナイカト疑フ者ガアリマス併シ法理上條約ヲ履行スルガ爲メニ國ノ法律命令ヲ發スベキノデアリマス條約ヲ以テ法令ニ代フルコトヲ得マセヌ若シモ外國ニ對シテ或義務ヲ負ヒ其義務ヲ行フガ爲メニ新ナル法律案ヲ國會ニ提出シタルトキニ國會デ否決スルカモ知レマセヌ其場合ニハ政治上甚ダ困難デアアル併シ政治上困難デアルト云フノミデアツテ法理上困難ナルガ故ニ條約ノ性質ガ變更スベシト云フコトハナイノデアアル斯ノ如キ場合ハ恰モ一私人ガ朋友ニ向ツテ自己ノ力ニ餘ル約束ヲ爲シ履行スル實力ナクシテ困難スルト同ジコトデアリマス唯普通政治家ノ議論トシテハ此困難ヲ避クルガ爲メニ條約ハ法律デアアル故ニ外國ノ條約ハ當然ニ國民ニ向ツテ立法事項ヲ定メ得ルノデアルト説ク者ガ多イノデアリマス之ハ論理上我憲法ノ解釋トシテ認メ得ベキ根據ガナイノデアルト云フコトヲ一言シテ置キマス又條約ヲ締結スルハ君主ノ大權デアツテ如何ナル事ハ條約トシテ締結シ得ベキカノ問題ハ我輩ハ何事ニテモ自由ガアルト見テ居リマス或人ハ憲法上ノ立法事項ハ條約ヲ以テ定ムルニ

トヲ得ズト云フ者ガアルガ之ハ誤解デアリマス外國ニ向ツテ何事ヲ約スルモ自由デアアル憲法ノ規定ハ國內ニ於テ法律命令ヲ發スル場合ニ於ケル制限ヲ定メタルモノデアアル併ナガラ政略論トシテ立法事項ヲ條約ニテ定メタルトキハ其條約上ノ義務ヲ履行セントスルトキニハ議會ノ協賛ヲ經テ更ニ法律ヲ作ラネバナラヌト云フ困難ガアルト云フニ過ギナイノデアリマス其他條約ニ付テ種々學說ガアリマスケレドモ一々披露スル暇ガアリマセヌ簡單ナガラ條約ト法律トノ關係ハ略ボ之デ御分リデアラウト思ヒマス

### 第七章 豫算

豫算ハ國家ノ會計ノ見積計算デアリマス國家ノ歳入歳出ハ總テ豫算ヲ以テ議會ノ協賛ヲ經ベキ旨カ憲法ニ明言シテアリマス故ニ豫算ハ議會ノ協賛ヲ經テ定ムル所ノ會計ノ見積計算デアリマス豫算ハ文字ノ通り事實ノ豫想デアツテ法則デアアリマセヌ法則トハ行爲ノ標準ヲ示スモノデアリマス豫算ハ未來ノ事實ヲ豫見スルモノデアリマス故ニ本來ノ性質上法則トハ異ツテ居リマス何カ故ニ豫算ヲ設クルカハ財政上ノ理由モアリ亦政治上ノ理由モアリマス凡ソ大小ニ拘ラヌ



經濟ノ方法トシテ出納ノ豫算ヲ設クルコトハ、財政ヲ整理スルニ必要ノ方法デア  
ル、故ニ國家ノ財政上豫算ナルモノ、必要ナルハ言フヲ疑タヌノデアリマス、又立  
憲政體ニ於テ特ニ豫算ニ重ヲ置キ議會ノ議決ヲ經テ之ヲ確定スルト云フコトハ  
政治上ノ意味ノアルコトデアリマス、併ナガラ法律命令ノ範圍内ニ於テ如何ナル  
程度ニ於テ行政ヲ行フカニ付テハ金錢ノ問題ガ極テ大切デアアル、豫算ヲ設ケ之ニ  
由リテ行政セシムルコトガ間接ニハ行政其モノヲ監督スル便法トナルノデアリ  
マス、故ニ豫算ヲ定メ議會ノ議ヲ經テ之ヲ以テ行政ノ準則ノ一ツトナス所以デア  
リマス

豫算ノ性質ニ就テ一言シマス、豫算夫レ自身ハ法律命令トハ異ツテ居ツテ法則ノ  
力アルモノデアリマセス、唯明年度ニハ國庫ニ幾何ノ金ガ在ル、幾何ノ金ヲ支出  
セザルベカラザルモノデアラウカト云フ事實ノ想像ニ過ギナイノデアリマス、併  
ナガラ會計法ト云フ特別ノ法律ガアリ會計法ガ行政官ニ對シ豫算ニ依ツテ會計  
ヲ取扱フベシト命ズルカラ會計法ノ效力ニ依ツテ間接ニ豫算ガ行政官ノ行爲ヲ  
束縛スル力ヲ有スルノデアリマス、此事ヲ誤解シテ豫算其モノガ獨立ノ力トシテ

法律ト同シ效力ヲ有スルモノト見ルハ誤デアリマス、恰モ先回ニ述べタル通り、條  
約ト云フモノハ外國ニ對スル約束デアアル、人民ヲ束縛スル當然ノ力ガナキモノデ  
アルガ、唯若シモ法律ガ條約ニ依ツテ處分スベキコトヲ規定シタル場合ニハ法律  
ノ力トシテ間接ニ條約ハ人ノ權利義務ノ法則タルト同シ働ヲ爲スコトガアリマ  
ス、例バ民法ノ第二條ノ規定ノ如キデアアル

豫算ノ性質ニ於テハ外國ノ教科書ニハ種々ナル説明ガ見エテ居リマス、或ハ之ハ  
國會ガ政府ニ對シテ國庫金ノ出納ヲ委託スルノ全權委任狀デアルト説ク者モア  
ル、併ナガラ此議論ハ形容ノ言葉トシテ巧ナルノミデアツテ、法理論トシテ正當ナ  
ル解釋デハアリマセス、國庫ノ金ハ議會ノ金デアリマセス、議會ガ主人デアツテ  
自己ノ金錢ノ出納ヲ雇人ニ委任スル事トハ、マルデ事態ヲ異ニシテ居リマス、或ハ  
又豫算ハ法律デアルト云フ説明モアリマス、併シ之ハ前ニ述べタル理由ニテ誤解  
タルハ明デアリマセウ、蓋歐羅巴諸國ニテハ何事ニテモ議會ノ議決ヲ經タルモノ  
ハ法律ト名ケル慣例ガアルカラ、豫算ハ法律ナリト云フコトモアリマス、併シ形式  
ハ法律デアアルガ實質ハ法則ニアラズ、法則タル働ヲ當然ニ有スルモノデアリマ



セス、我憲法ニテハ形式ニ於テモ豫算ヲ以テ法律ナリトハシテ居リマセヌ、故ニ此論ハ外國ニ於テ或ハ主張シ得ベキモ我憲法論トシテハ不當デアリマス、要スルニ我憲法上豫算ノ性質ハ會計法ノ規定ニ依ツテ行政ヲ監督スル方法トシテ存在スルモノデアルト見ルベキデアリマス、而シテ行政ハ君主ノ大權ヲ以テ監督スルモノデアルカラ、君主ハ行政ヲ監督スルノ方法手段トシテ豫算ヲ設クルモノト見ルノデアリマス、政治上ノ意味ニテハ議會ガ政府ヲ監督スル一ツノ手段デアルトモ見ラレマスケレドモ之ハ政治論トシテノ説明デアル、法理關係ニ於テハ政府、行政官ヲ監督スル者ハ議會ニアラズ君主デアルカラ、君主ガ之ヲ監督スルノ手段デアルト云ハナケレバナリマセヌ、議會ガ豫算ヲ議定スル議定權ノ範圍制限ニ付テハ既ニ議會ノ權限ノ章ニ述ベテ置イタト思ヒマスカラ、之ヲ參照セラレンコトヲ請ヒマス、前後ノ説明相補充シテ豫算ノ性質ヲ知ルベキモノデアリマス

豫算ハ法律命令ニアラズシテ訓令ノ性質ノモノデアル、訓令トハ一般人民ニ對行ル命令ニアラズシテ特別服從關係ニ在ル者、即チ官吏ニ對シテ監督權ニ依ツテ行ハル、ノ命令デアリマス、一般人民ハ豫算ニ依ツテ權利ヲ得又ハ義務ヲ負フモノ

デハアリマセヌ、唯行政官ハ法律命令ニ準據スベキノミナラズ又豫算ニ於テモ進據セザルベカラザルノデアアル、豫算ハ行政内部ニ於テ準則タル效力アルニ止ルノデアリマス

豫算ハ不分割ノモノデアアル、總テノ歳出入ハ一括シテ豫算トシ之ヲ定ムルモノデアツテ、數多ノ豫算ガ箇々別々ニ存在スベキモノデアリマセヌ、但豫算ニ會計法ノ規定ニ依リ款及項ニ分チテ之ヲ編制シ議會ノ議決ニ附スルノデアリマス、議會ノ議決ハ款項ニ依ツテ可否ヲ決セラレテアルモノデアアルカラ、行政官ガ實際ニ豫算ヲ執行スルニハ款及項ヲ基礎トシテ之ヲ動スコトヲ得ザルモノデアリマス、款項ヲ彼レ此レ流用スルハ議會ノ議決ニ背クコトデアリマス、豫算ノ目的ニ反スルコトデアリマス、故ニ款項ハ動スベカラザルモノトナツテ居リマス

豫算ノ效力ハ歳入ニ付テハ稍薄弱デアリマス、性質上明年度ニ幾何ノ歳入アルカハ純粹ニ事實ノ見積デアアルカラ、豫算ヲ以テ事實ヲ左右スルコトハ出來能ハザルノデアリマス、併シ歳入ヲ見積ラザレバ歳出ヲ定ムルコトガ出來ヌカラ歳入豫算ヲモ併セテ編制セザルベカラザルノデアアル、我豫算ノ重點ハ歳出ニ在ルノデアリ



マ、歳出ハ政府ノ見込ニテ如何ナル金額ニテモ支出シ能フノデアラカラ、之ヲ制限スル爲メニ豫算ヲ設クルノデアリマス、歳出豫算ノ效力ハ其目的ニ對シテ金錢ヲ支出シ得ベキ最高限ヲ示スモノデアアル、必ズ其金額ヲ支出スベキモノト命ズル意味デハアリマセヌ

茲ニ豫算ト法令トノ兩立セザル場合若ハ國家緊急ノ必要アツテ豫算ニ依ル能ハザル場合ハ如何ニスベキカノ問題ヲ説明シテ置キマセウ、法令ニ執行セントスルトキニハ豫算金額ニテハ爲シ能ハザル事實ガ生スルコトガアルデアラウ、此場合ニハ如何ニスベキカ、行政ノ官吏タル地位ト大權ノ地位トニ依ツテ區別シテ考ヘナケレバナリマセヌ、普通ノ行政官トシテハ豫算ニ束縛セラレテ居リマス、故ニ法令ノ執行ニ必要デアルカラト云フ自己單獨ノ解釋ニテ豫算ニ超過スルコトハ權限ノ許サハル所デアリマス、併ナガラ君主大權ノ方面ヨリ論ズレバ豫算ハ法令ヲ執行スルガ爲メノ從タル方法デアアル、故ニ法令ノ執行ノ爲メニ豫算ガ不十分デアルトキハ、豫算外ニ支出ヲ爲スコトヲ必要トスル場合ガアリマス、憲法ハ此事ヲ豫見シテ或條件ノ下ニ許シテ居リマス、(憲法第六二項)此場合ニ政府ガ豫算ノ款項ニ超過シ

又ハ豫算外ノ支出ヲ爲シタルトキハ、後ニ帝國議會ニ提出シテ承諾ヲ求ムベキコト、ナツテ居リマス、又通常ノ豫算外支出ニテ緊急ノ必要ニ應ズル能ハザルトキハ、更ニ憲法第七十條ニ依ツテ財政上ノ緊急處分ヲ爲ス場合ガアリマス、之ヲ今ニ一説明スル暇ハアリマセヌカラ條文ヲ讀ンデ解釋セラレンコトヲ希望シマス、大體前ニ述ベタル緊急勅令ト同ジ性質ノモノデアアル、唯普通ノ緊急勅令ハ法律ノ不備ヲ補フノデアアル、第七十條ノ緊急處分ハ豫算ノ不備ヲ補フノデアアル、豫算外支出及財政上ノ緊急處分ヲ議會ニ提出シテ承諾ヲ請ヒタル場合ニ、議會ガ承諾ヲセザルトキハ如何ナル結果トナルカ、其處分ヲ既往ニ遡ツテ無効タラシムルモノデアハアリマセヌ、唯承諾ヲ得タルトキハ恰モ初ヨリ豫算ニ載セテアリシカノ如ク取扱ハレ、從テ會計検査ニ對スル行政官ノ責任カ輕クナルノデアリマス、若シモ承諾ヲ得ザリシ場合ニハ會計検査院ニ對シ又ハ議會ニ決算ヲ報告スル場合ニ故ラニ行政官カ其緊急已ヲ得ザリシ場合ヲ陳辯シテ豫算ニ違ヒタルノ責任ヲ明ニセザルベカラザルノデアリマス、處分其モノヲ根本ヨリ無効ナラシムルモノデアアリマセヌ



豫算ハ會計ノ基礎デアアル、豫算ニ依ツテ出納ヲ行ヒ、後ニ現計ノ決算ヲ爲シ之ヲ検査院ニ於テ検査シ上奏ヲシタ後ニ議會ニ提出シテ報告スルモノトテツテ居リマス、是等ノ細目ニ付テハ時間ガナイカラ説明ヲ省イテ置キマス、會計検査ト云フコトハ要スルニ行政官ノ會計上ノ取扱ガ法令ニ違ハザリシヤ、豫算ニ違ハザリシヤ又果シテ必要ニシテ適當ナリシヤ、此三ツノ點ヲ審査スルモノデアリマス、検査院ハ此點ヲ審査シ意見ヲ附シテ上奏スルノデアアル上奏シタル後若主ハ不當ト考ヘルナラバ行政官ノ責任ヲ問フデアリマセウ、併シ之ハ大權ノ行動デアツテ會計検査其モノガ直接ニ行フ權限デハアリマセウ

### 第八章 司法權

統治權ノ作用ハ大權、立法權及司法權ノ三ツトナス、此三ツノ働ヲ説明スルコトニ依ツテ此編ノ概要ヲ盡スノデアアル、司法權ノ何タルヤニ就テ概略ノ説明ヲ附ケ加ヘテ置キマス

司法權ノ機關ハ裁判所デアアル、之ハ前ニ述ベテアリマス、此篇ニハ司法權ハ何デアルカ、其實質ト其形式トヲ説明スル必要ガアリマス、憲法ノ第五十七條ニ司法權ハ

天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フトアリマス、天皇ノ名ニ於テト云フヤ若主ハ大權トシテ自ラ直接ニ司法權ヲ行使セス、裁判所ト云ヘル機關ヲ通ジテ行ハシムルノ意義デアリマス、又一方ニハ司法權ハ裁判所ノ權力ニアラズ、天皇ノ權カタルコトヲモ示シテ居ルノデアリマス、法律ニ依ルト云フコトハ裁判ト云フ方法形式、手續ハ立法事項トシテ議會ノ議ヲ經タル法律ヲ以テ定ムベク、大權ノ命令ヲ以テ左右スルコトヲ爲サルヲ意味スルノデアリマス、裁判スルニ適用セラルル法則ハ法律ノミデアアル命令ハナイ、併ナガラ裁判ノ方法、手續具體的ニ云ヘハ裁判所構成法トカ民事、刑事ノ訴訟法トカ云フモノハ勅令ヲ以テ定ムルコトヲ得ズ、必ズ法律ヲ以テスベキノ意味デアリマス、此趣意ハ裁判ノ獨立ヲ保護スルノデアアル、專制ノ時代ニハ君主ガ裁判ニ干涉スル弊ガアツタカラ、法律ヲ以テスルニアラザレハ君主ノ命令權ヲ以テハ裁判ヲ左右スルコトハ出來ヌト云フ擔保ヲ示シタルモノデアリマス

司法權トハ何デアアルカ、憲法ニハ定義ガ明言シテハアリマセウ、併シ憲法以前ヨリノ觀念ヲ推シ之ヲ論スルトキハ、民事、刑事ノ事件ヲ裁判ト云フ形式ニテ裁決スル



國權ノ行動ヲ指シテ云ヘルモノト解スルガ穩當デアリマス、司法權ノ實質ハ民事刑事デ其形式ハ裁判デアル以テ立法權及行政權ノ働ト區別スベキモノデアリマス、刑事ト云フハ刑罰ヲ適用スベキ事件デアル、民事ト云フハ私法上ノ事件デアル、素ヨリ私法ト云フ觀念ガ不確定デアルトキハ之ガ説明トハナラナイデアリマヌ、併シ我輩カ斯克説明スルハ此講義ノ初ニ説明セル私法ノ觀念ヲ以テ斯様ニ述ブルノデアル、故ニ前ニ述ベタ私法ノ説明ト照シ合セテ此解釋トナスベキモノデアリマス、或ハ之ヲ個人間ノ事件デアルト云ヒ或ハ之ヲ私權ノ争ノ事件デアルトモ云ヒマス、併シ相手方ガ個人デアルト公ノ團體デアルトヲ問ハズ、又争ノ目的ガ私權デアルト否トヲ問ハズ、權力關係ニアラザル平等關係ニ於ケル法律關係ノ問題ハ總テ廣キ民事ノ觀念ノ中ニ入ルモノデアルト見テ居リマス、司法權ノ實質ハ斯ノ如ク民事、刑事デアアル、併ナガラ現行ノ裁判所構成法及訴訟法等ニ依ツテ見レハ民事、刑事ノ外ニ裁判所ハ公法上ノ訴訟ヲモ管轄シテ居リマス、例ハ衆議院議員ノ選舉訴訟ノ如キデアアル、併シ之ハ司法權ト云フ當然ノ範圍ニ屬スルニアラズシテ、特別法ノ特別規定デアツテ便宜上司法裁判所ノ管轄ニ屬セシメタルモノデア

リマス、當然ノ司法權ノ範圍デアアリマセヌ、又裁判所ハ非訟事件ヲモ取扱ヒマス併シ非訟事件ハ性質上ハ行政ノ事務ト異ルコトナキノデアアル、唯便宜上獨立ノ裁判官ヲシテ取扱ハシムルコトガ便宜デアルカラ之ヲ特別法文ニテ管轄セシメタルモノデアリマス、司法權ト云フ當然ノ實質ノモノデアアリマセヌ、非訟事件ハ御承知ノ通、登記事務ノ如キ事デアアル、土地ノ登記ハ裁判所デ扱ヒ身分ノ登記即チ戶籍ハ行政廳デ扱ツテ居リマス、性質上ニツノモノガ異ルコトハナイノデアアル、皆便宜ノ問題ニ外ナラヌノデアリマス、故ニ例バ公法上ノ訴訟或ハ非訟事件ノ如キモノヲ裁判所ノ管轄ヨリ除キ去リタレバトテ、憲法上ノ規定ニハ少シモ違犯スル所ナキノデアアル、之ニ反シ民事若ハ刑事ヲ裁判所ノ管轄ヨリ除キ、行政官ノ手ニ移シタナラバ憲法ノ規定ニ反スルノデアアル、之ニ依ツテ司法權ノ實質上ノ意義モ自ラ知ラル、デアリマセウ

司法權行動ノ形式ハ裁判デアアル、裁判トハ何デアルカ、私ノ解釋ニテハ事件ノ當事者カ法律上ノ權利トシテ、其事件ノ處分ニ參與スル形式ヲ謂ヘルモノデアルト解シマス、之ガ裁判ノ裁判タリ行政ノ處分ト異ル要點デアルト認メマス、普通ノ解釋



ニテハ裁判ト云フハ争ヲ仲裁決定スルコトデアルト云ヒマスガ、多クノ場合ニハ當事者各反對ノ主張アツテ相争フガ爲メニ訴訟ヲ提起スルノデアアルカラ實際ニハ大多數ノ事件ハ争ヒ喧嘩ト云フ範圍ニ屬シマス、併ナガラ訴訟ハ必ズシモ當事者雙方ノ意見ノ衝突ヲ要件トハシテ居リマセズ、當事者各權利ニ付キ一致シテ居ルナレトモ、將來ニ向テ此權利關係ヲ確定シテ動かザルモノトナサント欲スル意味ニテ、法律關係ノ單ニ確認ヲ認ムル爲メノ訴訟モアリマス、或ハ又土地ノ境界ヲ定ムルトカ、金額ノ多少ヲ決定スルトカ云フガ如キ、必ズシモ當事者ノ反對主張アルニアラザレトモ公平ナル裁判官ノ見込ニテ定メテ貰フコトヲ要求スル爲メノ事件モアリマス、故ニ訴訟ヲ裁判スルニハ必ズ争ノ仲裁決定トノミ見ルハ不當デアル、且又争ヲ裁斷スルコトハ行政ノ處分ニ其例極テ多イコトデアアル、警察官ナドノ仕事ハ多ク喧嘩ノ仲裁ガ常ノ事デアリマス、故ニ行政處分ト司法裁判トノ異ル點ヲ争フト云フコトニ著眼シテ定ムルハ當ヲ得マセズ、唯司法權行動ノ特色トスル所ハ之ニ依ツテ法律ノ適用ヲ受クベキ當事者ガ法律上權利トシテ國家ノ權力ノ行動ニ參與スルコトヲ要件トスルコトニ在ルノデアリマス、裁判ニハ當事者ガ

權利トシテ之ニ參與スルコトヲ要件トシテ居リマス、行政ノ處分ニ付テハ參考ノ爲メニ本人ノ意見ヲ聞クコトモアルデアラウ、併ナガラ權利トシテ行政ノ處分其モノニ關係セシムルモノデアライノデアアル、行政官ノ一方面的ノ手續ニテ處分スルノデアアル、之ガ行政處分デアアル、裁判官ハ如何ニ明々白々タル事件デアツテモ當事者ノ法律上ノ形式ヲ履ンダル參與ナクシテハ司法權ヲ行フコトガ出來ヌノデアリマス、當事者ノ參與ヲ國權行動ノ要件トスルト云フ點ガ司法裁判ノ特色デアリ、行政處分ト異ル所以デアリマス、行政裁判ハ裁判タル形式ニ於テハ司法權ノ行動ト同シデアアルガ其實質ヲ異ニスルノデアリマス、少シ言葉ガ、不十分デアツタカモ知レマセヌガ、尙ホ趣意ヲ酌テ了解セラレンコトヲ希望シマス

終ニ司法權ノ獨立ト云フ事ニ付テ一言シテ置キマセウ、司法權ノ獨立ハ元來政治上ノ言葉デ、之ヲ法律上ノ關係ニ説明スレバ、裁判官ガ事件ヲ判斷スルニ付テハ自己自由ノ法律ノ解釋ヲ以テスルモノデアツテ、他ノ訓令ヲ受ケズト云フコトニ外ナラヌノデアリマス、裁判官ノ職ヲ終身トスルトカ或ハ其任免黜陟ヲ鄭重ニスルトカ云フガ如キハ、此法律解釋ノ自由獨立ナルコトヲ擔保センカ爲メノ制度デア



リマス、又之ガ行政官ノ地位ト異ル所デアアル、元來行政官ハ自己獨立ノ法律解釋ナルコトヲ有スベカラザルモノデアアル、上官ノ訓令ヲ以テ束縛セラレテ其指揮監督ノ下ニ働クベキモノデアアル、期スル所大權ノ訓令監督ヲ以テ之ヲ左右シ得ベキモノデアリマス、行政官ハ獨立ト云フコトハアリマセヌ、上官ト下官トガ法律ノ解釋ヲ異ニスレバ上官ノ監督權ニテ下官ノ見解ヲ束縛スルモノデアリマス、之ニ依ツテ行政ノ統一ガ保タレテアルノデアアル、裁判官ハ之ト反對ノ地位ニ在ル、外部ヨリノ訓令ヲ受ケテ法律ノ解釋ヲ左右セザルト云フコトガ獨立タル所以デアリマス、司法權ノ獨立ト云フコトハ法理上ノ意味ハ此點ニ止ルノデアリマス

### 第九章 行政

憲法ノ説明ハ統治ノ主體、客體機關及作用、此四ツヲ以テ完結シテ居リマス、然レトモ立法、大權、司法ノ三ツノ權力ノ働ク憲法上ノ國權行動ノ形式ガアリマス、之ヲ説明セザルハ不備デアルカノ如ク思ハル、人モアラウ、故ニ茲ニ行政ノ觀念ヲ示シ前ニ述ベタル三ツノ權力トノ關係ヲ一言シテ置キマス

行政トハ官府ニ依ツテ立法權及大權ヲ執行スルノ國權行動ノ方面ヲ指ス言葉デア

アリマス、立法、司法、大權ノ外ニ憲法上第四ノ統治權作用トシテ行政ナルモノ、アルノデハナクシテ、大權及立法權ガ官府ヲ通ジテ人民ニ働ク國權ノ形式ヲ總稱スル言葉デアリマス、故ニ行政トハ大權及法律ノ範圍内ニ於テ國家ノ目的ヲ達スル爲メノ官府ノ職權ノ發動デアルト觀シテ宜イノデアアル、行政ノ觀念ヲ詳シク説クガ此處ノ目的デアアリマセヌ、併ナガラ憲法ヨリ行政法ノ研究ニ移ル關係ヲ明ニ知ルコトガ必要デアアル、行政法ハ憲法ノ細目ヲ説明スルモノト考フルハ誤解デアリマス、之ハ別ノ方面ノ研究デアアル、憲法上統治權ノ働ク大權トシテ現レ、立法權、司法權トシテ現ル、ノデアツテ、而シテ立法權及大權ガ法律勅令ヲ作り官府ヲ設ケ官府ノ權限ヲ定メ、各成立シタル官府及其他ノ行政ノ機關ハ、大權及法律ニ依ツテ得タル權限ヲ外部ニ對シテ行フ、其權力關係ヲ實質トスルモノハ所謂行政法デアリマス、簡單ニ謂ヘバ行政トハ官府若ハ人體ニ依ツテ行ハル、所ノ國權ノ行動デアアル、行政法ハ官府若ハ人體ヲ通ジテ國家ト人民トノ間ニ成立スル法律關係ヲ研究スルノ法學デアアル、國家ト人民ト官府若ハ人體ト云フ媒介者ナクシテ直接ニ對峙シタル關係ヲ論ズルハ憲法ノ範圍ニ屬スルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ



工  
8/2

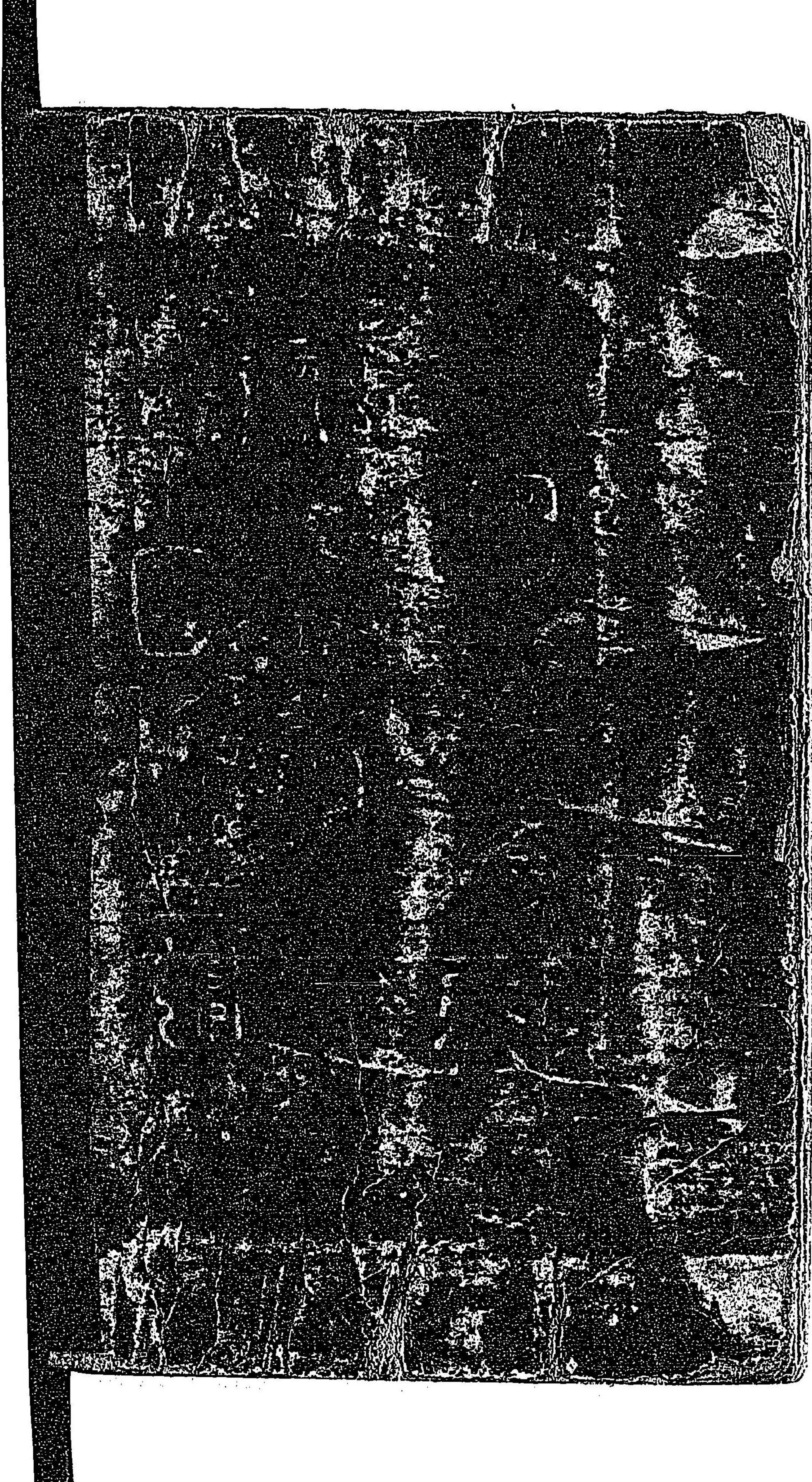
8/2

憲法(完結)

官府及人體ナケレバ嚴正ニ謂フ行政ト云フコトハナイノデアリマス此簡單ナル  
説明ニ依ツテ憲法ト行政法ノ聯絡ヲ明ニ知ルコトガ必要デアル之ヲ以テ憲法ノ  
説明ノ大體ヲ終ツタモノトシマス

中  
9/10







工  
84

031474-000-2

工-8千

憲法

穂積 八束/述

M40?

BBE-0073





I

84

中央大學 明治四十 年度  
法律科第一學年講義錄

憲法

續八卷